

平成24年度

第1回 県政モニターアンケート

 長野県

目 次

調査の概要	-----	1
結果の内容	-----	5
(1) 長野県の呼称について		6
問 1 長野県のイメージ・呼称		
(2) 長野県の強みとイメージについて		9
問 2 長野県の「強み」、「魅力」		
問 3 信州を象徴する色		
(3) 長野県民の想いについて		11
問 4 普段、関心を持っていること		
問 5 長野県に住み続けたい意識		
問 6 感性に合う「価値感」		
(4) 長野県の物産について		15
問 7 県内外に薦めたい物産		
(5) 県産農産物の認知度・購入意識・食生活について		16
問 8 信州のオリジナル食材等の認知度		
問 9 食べてみたい県産材のメニュー、食材		
問 10 長野県産や地場産の購入意識		
問 11 日常の食生活における意識		
(6) 新たな総合5か年計画～長野県の現状と課題～		24
問 1 2 人口減少社会に重要だと思うこと		
問 1 3 「信州らしいライフスタイル(暮らし方)」のイメージ		
問 1 4 長野県経済の活力維持のために必要なこと		
問 1 5 社会を支える重要な仕組み		
(7) 新たな総合5か年計画～20年後の目指す姿～		28
テーマ 1 (世界への挑戦)		
問 1 6 - 1 (世界をリードする最先端産業)について		
問 1 6 - 2 (世界品質の農産物)について		
問 1 6 - 3 (世界に選ばれる信州の魅力)について		
問 1 6 - 4 (知の拠点)について		
テーマ 2 (ゆとりのライフスタイル)		
問 1 7 - 1 (楽園信州)について		
問 1 7 - 2 (感動との出会い)について		
問 1 7 - 3 (自然のお裾分け)について		
問 1 7 - 4 (どこでもドアの信州)について		
テーマ 3 (居場所と出番)		
問 1 8 - 1 (100%の自己実現)について		
問 1 8 - 2 (子育て先進県)について		
問 1 8 - 3 (あんしん社会)について		
テーマ 4 (世界一の健康長寿)		
問 1 9 - 1 (世界一の健康づくり)について		
問 1 9 - 2 (生きがいが生み出す元気な暮らし)について		
問 1 9 - 3 (世界に誇る保健活動・医療)について		
テーマ 5 (教育立県)		
問 2 0 - 1 (人間力を養う)について		
問 2 0 - 2 (行きたくなる学校)について		
問 2 0 - 3 (自然の中でたくましく)について		
問 2 0 - 4 (個性輝く)について		
問 2 0 - 5 (常に学び続ける)について		
(8) 県職員の姿勢・行動について		52
問 2 1 県の職員と県民の期待		
問 2 2 県の職員の志と仕事への情熱		

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、県政の課題について県政モニターの意見を聞き、県政運営の参考とするために実施した。

2 調査の項目

次の3項目について22問を設定した。

- (1) 長野県のブランド推進等について
- (2) 新たな総合5か年計画について
- (3) 県職員の改革に対する姿勢や行動について

3 調査の方法

- (1) 調査地域：長野県全域
- (2) 調査対象：県政モニター 1,232人
- (3) 調査方法：郵送又はインターネット
- (4) 調査期間：平成24年7月25日(水)から8月6日(月)

4 回収結果

回収数(率) 944人(76.6%)

【回答方法別】 (上段 回答者数：中段 対象者数：下段 割合)

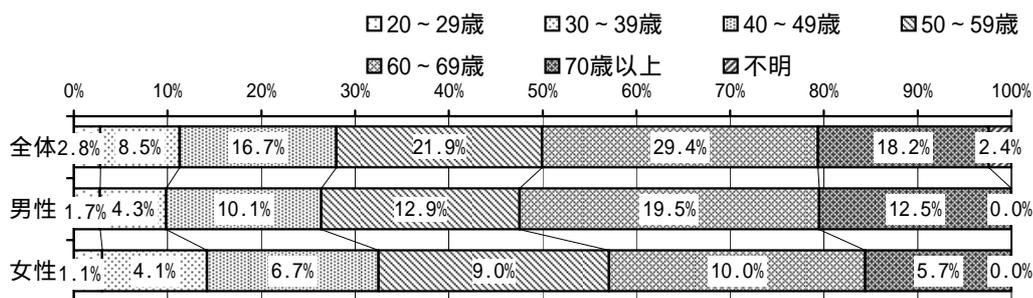
	全体回答率	(回答方法内訳)	
		郵送	インターネット
総数	944	628	316
	1,232	765	467
	76.6%	82.1%	67.7%
公募	78	-	78
	102	0	102
	76.5%	-	76.5%
無作為	866	628	238
	1,130	765	365
	76.6%	82.1%	65.2%

5 回答状況

【男女別・年代別】 (上段 回答者数：下段 割合)

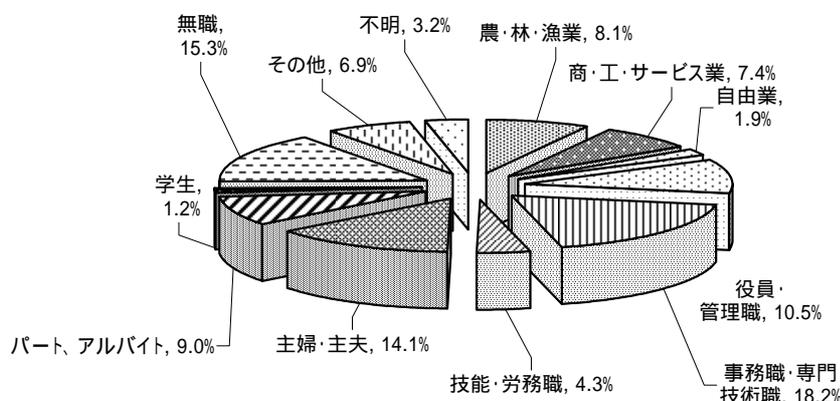
	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	944	26	80	158	207	278	172	23
	100.0%	2.8%	8.5%	16.7%	21.9%	29.4%	18.2%	2.4%
男性	576	16	41	95	122	184	118	-
	61.0%	1.7%	4.3%	10.1%	12.9%	19.5%	12.5%	-
女性	345	10	39	63	85	94	54	-
	36.5%	1.1%	4.1%	6.7%	9.0%	10.0%	5.7%	-
不明	23	-	-	-	-	-	-	-
	2.4%	-	-	-	-	-	-	-

割合(%)はすべて、回答総数(n=944)に対する割合



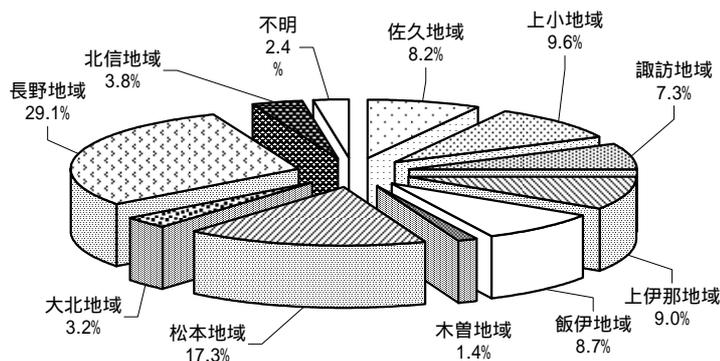
【職業別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
農・林・漁業	103	8.4%	76	8.1%	73.8%
商・工・サービス業	99	8.0%	70	7.4%	70.7%
自由業	24	1.9%	18	1.9%	75.0%
役員・管理職	128	10.4%	99	10.5%	77.3%
事務職・専門技術職	216	17.5%	172	18.2%	79.6%
技能・労務職	67	5.4%	41	4.3%	61.2%
主婦・主夫	174	14.1%	133	14.1%	76.4%
パート、アルバイト	118	9.6%	85	9.0%	72.0%
学生	18	1.5%	11	1.2%	61.1%
無職	189	15.3%	144	15.3%	76.2%
その他	89	7.2%	65	6.9%	73.0%
不明	7	0.6%	30	3.2%	-
合計	1232	100.0%	944	100.0%	76.6%



【地域別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
佐久地域	105	8.5%	77	8.2%	73.3%
上小地域	109	8.8%	91	9.6%	83.5%
諏訪地域	93	7.5%	69	7.3%	74.2%
上伊那地域	116	9.4%	85	9.0%	73.3%
飯伊地域	114	9.3%	82	8.7%	71.9%
木曾地域	17	1.4%	13	1.4%	76.5%
松本地域	225	18.3%	163	17.3%	72.4%
大北地域	35	2.8%	30	3.2%	85.7%
長野地域	370	30.0%	275	29.1%	74.3%
北信地域	48	3.9%	36	3.8%	75.0%
不明	-	-	23	2.4%	-
合計	1232	100.0%	944	100.0%	76.6%



6 その他

- (1) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、割合の合計が100%とならない場合がある。なお、調査の設問には単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (2) 集計結果において、「無回答」とは、当該設問に対する回答（選択）が無いものを示す。
回答方法が1択の設問に対して、複数選択されているなど、正常な回答として扱えないものも「無回答」とする。
- (3) 「結果の内容」中、設問の表記は、便宜上補足（選択肢の番号など）を加えている場合がある。また、設問の選択肢で文字数が多いものについては、本文や図表中で便宜上短く省略している場合がある。
- (4) 「5 回答状況」で「不明」とあるものは、アンケート回答の際に県政モニターID番号の記入がなく、回答者の属性（性別、年代等）が不明なものを示している。

結果の内容

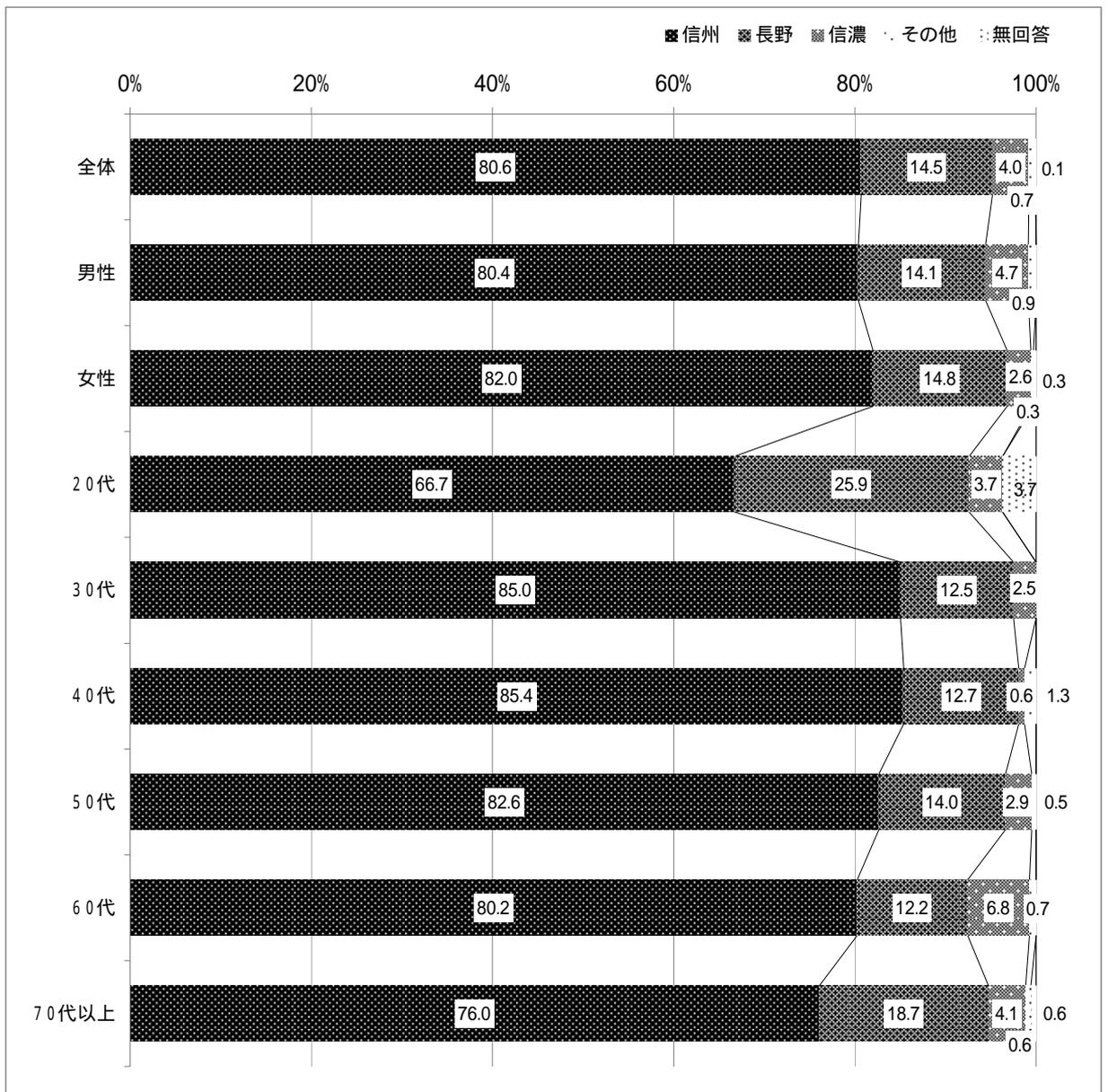
《長野県の呼称について》

<長野県のイメージ・呼称として適しているもの>
 「信州」が約8割。その理由として「直観的なイメージがあるから」、「さわやか信州」のキャッチフレーズの印象があるから」が多くを占める。

問1 長野県のイメージ・呼称として適しているのはどれだと思いますか。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
「信州」		761	80.6
「長野」		137	14.5
「信濃」		38	4.0
「その他」		7	0.7
無回答		1	0.1

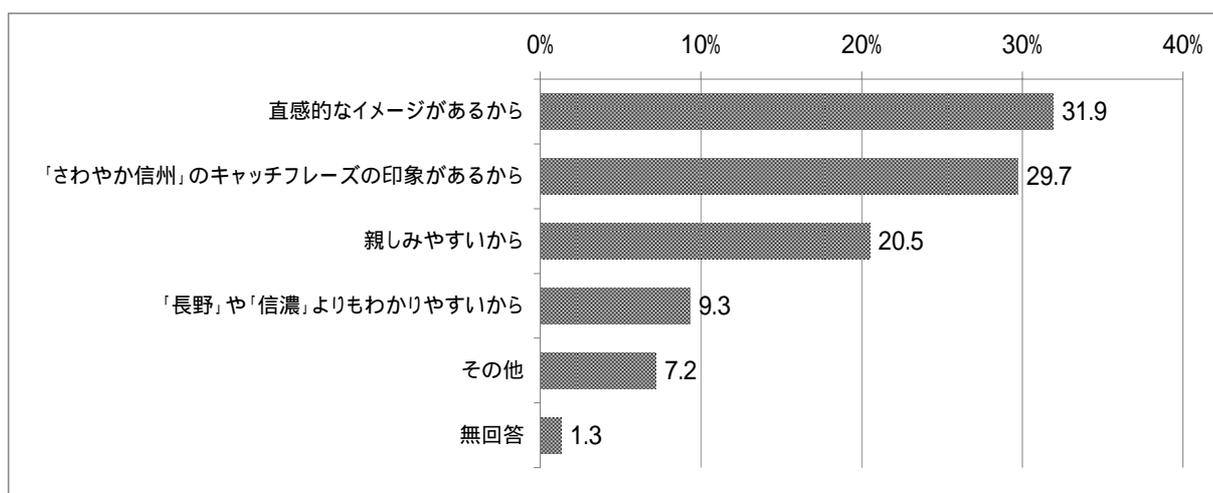
全体では、「信州」が80.6%と最も高く、次に「長野」(14.5%)、「信濃」(4.0%)と続いている。
 また、他の年代と比較して20代においては「信州」(66.7%)が低く、「長野」(25.9%)が高い。



問1で「信州」とお答えいただいた方は、その理由をお答えください。

	n= 761	回答数 (人)	割合 (%)
直感的なイメージがあるから		243	31.9
「さわやか信州」のキャッチフレーズの印象があるから		226	29.7
親しみやすいから		156	20.5
「長野」や「信濃」よりもわかりやすいから		71	9.3
その他		55	7.2
無回答		10	1.3

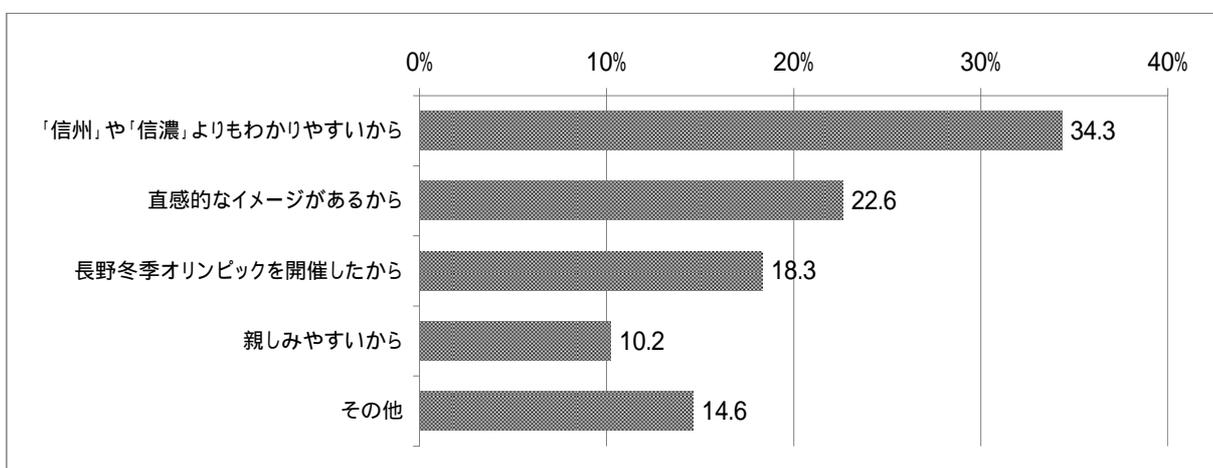
「直感的なイメージがあるから」が31.9%と最も高く、次に「さわやか信州」のキャッチフレーズの印象があるから(29.7%)、「親しみやすいから」(20.5%)が高い割合となっている。



問1で「長野」とお答えいただいた方は、その理由をお答えください。

	n= 137	回答数 (人)	割合 (%)
「信州」や「信濃」よりもわかりやすいから		47	34.3
直感的なイメージがあるから		31	22.6
長野冬季オリンピックを開催したから		25	18.3
親しみやすいから		14	10.2
その他		20	14.6

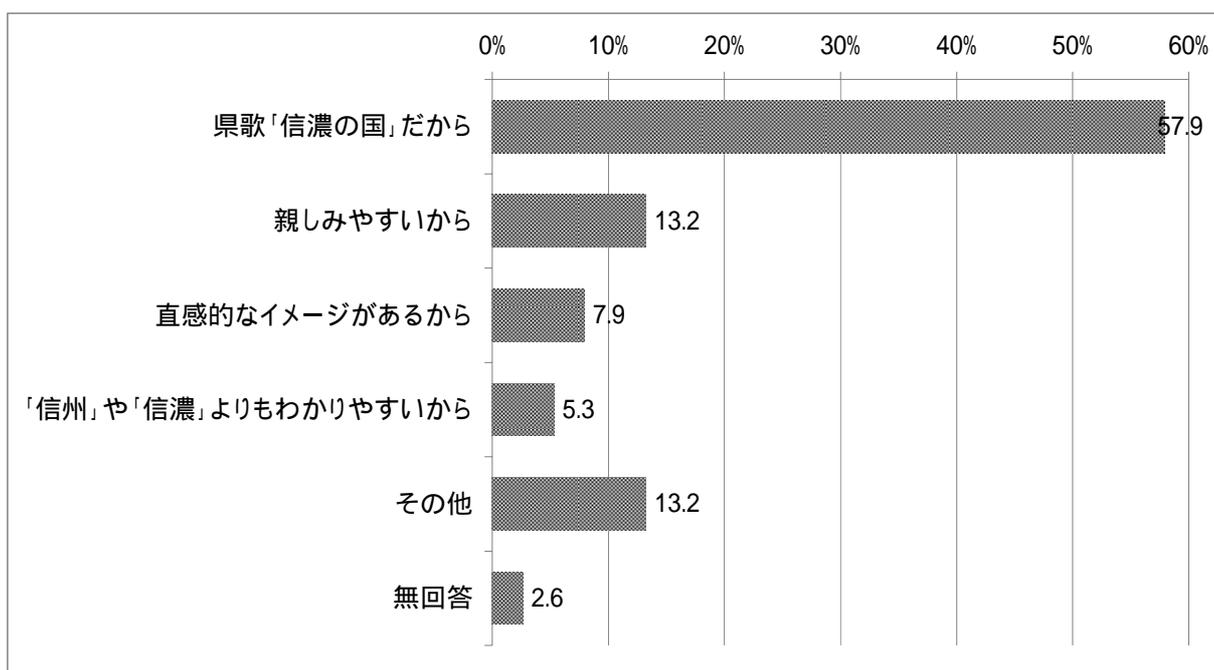
「信州」や「信濃」よりもわかりやすいから」が34.3%と最も高く、次に「直感的なイメージがあるから」(22.6%)が高い割合となっている。



問1で「信濃」とお答えいただいた方は、その理由をお答えください。

	n= 38	回答数 (人)	割合 (%)
県歌「信濃の国」だから		22	57.9
親しみやすいから		5	13.2
直感的なイメージがあるから		3	7.9
「信州」や「信濃」よりもわかりやすいから		2	5.3
その他		5	13.2
無回答		1	2.6

「県歌「信濃の国」だから」が57.9%と最も高い。



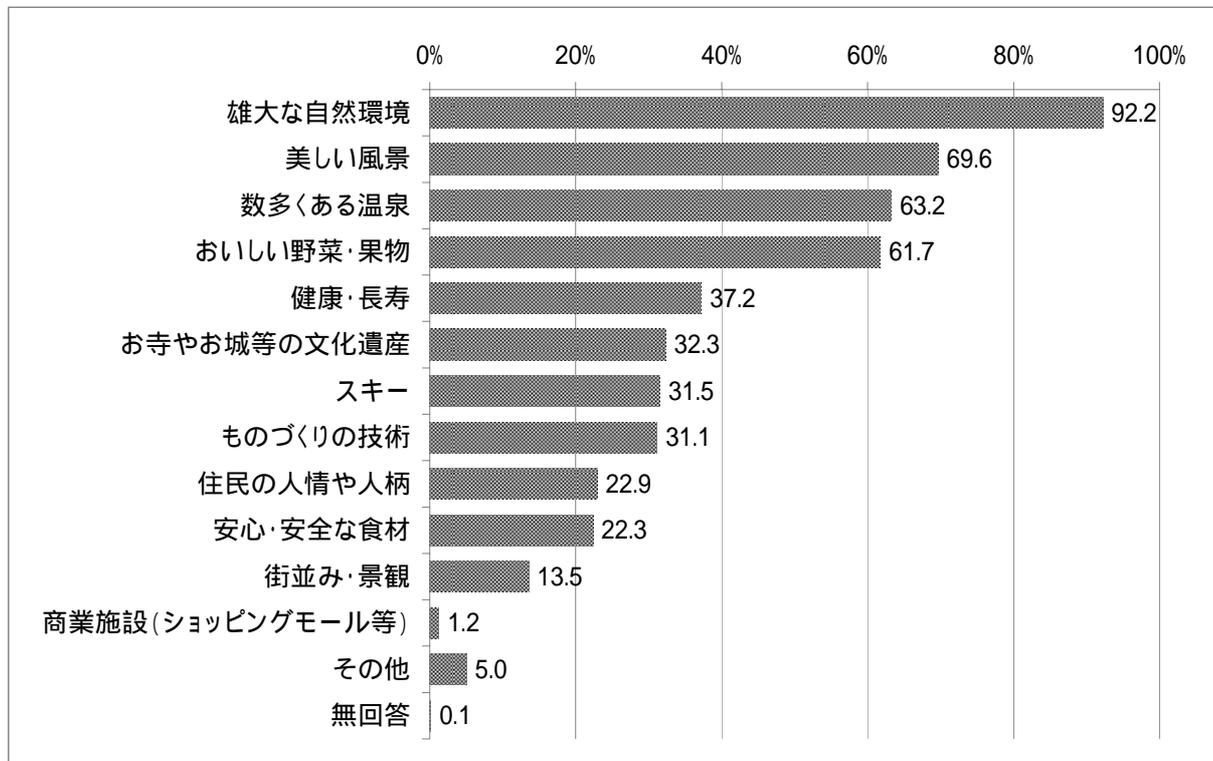
《長野県の強みとイメージについて》

<長野県の「強み」・「魅力」について>
 「雄大な自然環境」が約9割、次いで「美しい風景」が約7割

問2 長野県の「強み」、「魅力」は何だと思えますか。(3つまで)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
雄大な自然環境		870	92.2
美しい風景		657	69.6
数多くある温泉		597	63.2
おいしい野菜・果物		582	61.7
健康・長寿		351	37.2
お寺やお城等の文化遺産		305	32.3
スキー		297	31.5
ものづくりの技術		294	31.1
住民の人情や人柄		216	22.9
安心・安全な食材		210	22.3
街並み・景観		127	13.5
商業施設(ショッピングモール等)		11	1.2
その他		47	5.0
無回答		1	0.1

「雄大な自然」が92.2%と最も高く、次に「美しい風景」(69.6%)、「数多くある温泉」(63.2%)、「おいしい野菜・果物」(61.7%)が高い割合となっている。



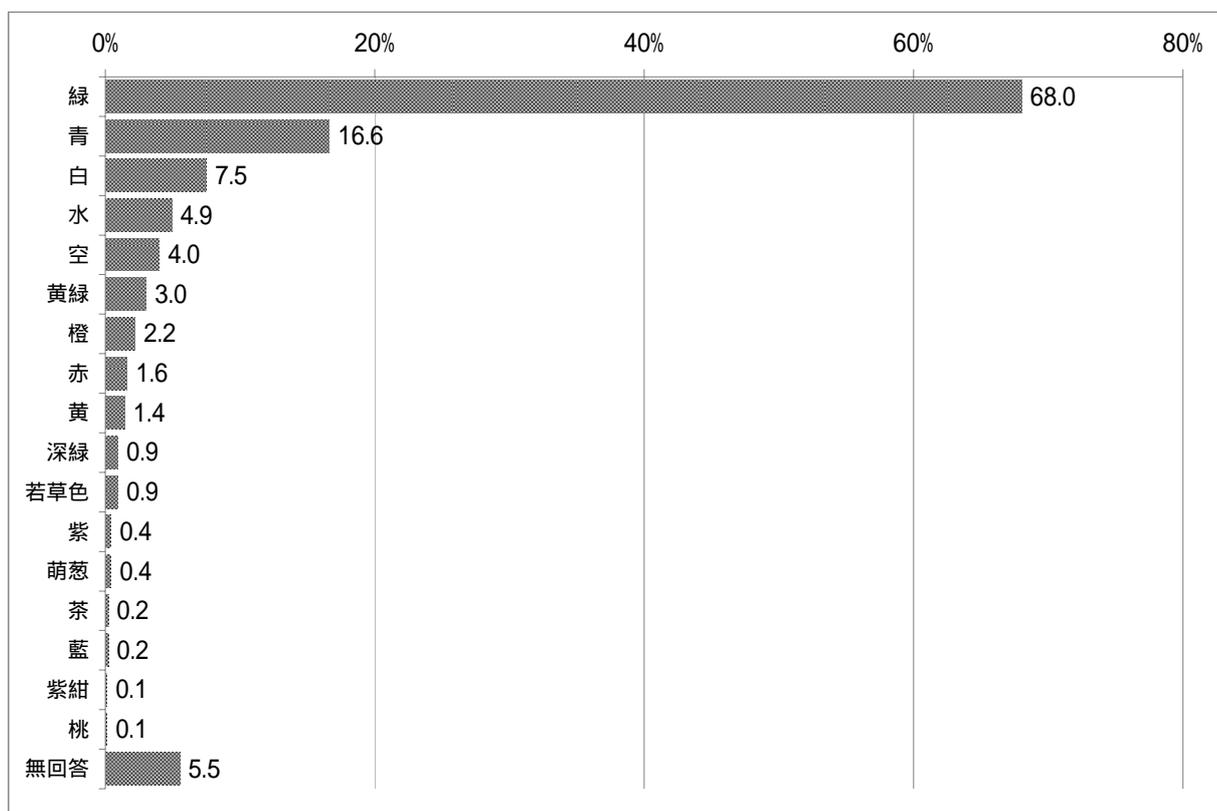
《長野県の強みとイメージについて》

<長野県をイメージする色>
 「緑」が約7割、次いで「青」が2割弱

問3 長野県を象徴する色は何色だと思いますか。(複数回答あり)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
緑		645	68.0
青		157	16.6
白		71	7.5
水		46	4.9
空		38	4.0
黄緑		28	3.0
橙		21	2.2
赤		15	1.6
黄		13	1.4
深緑		8	0.9
若草色		8	0.9
紫		4	0.4
萌葱		4	0.4
茶		2	0.2
藍		2	0.2
紫紺		1	0.1
桃		1	0.1
無回答		52	5.5

「緑」が68.0%と圧倒的に多く、次に「青」(16.6%)と続いている。



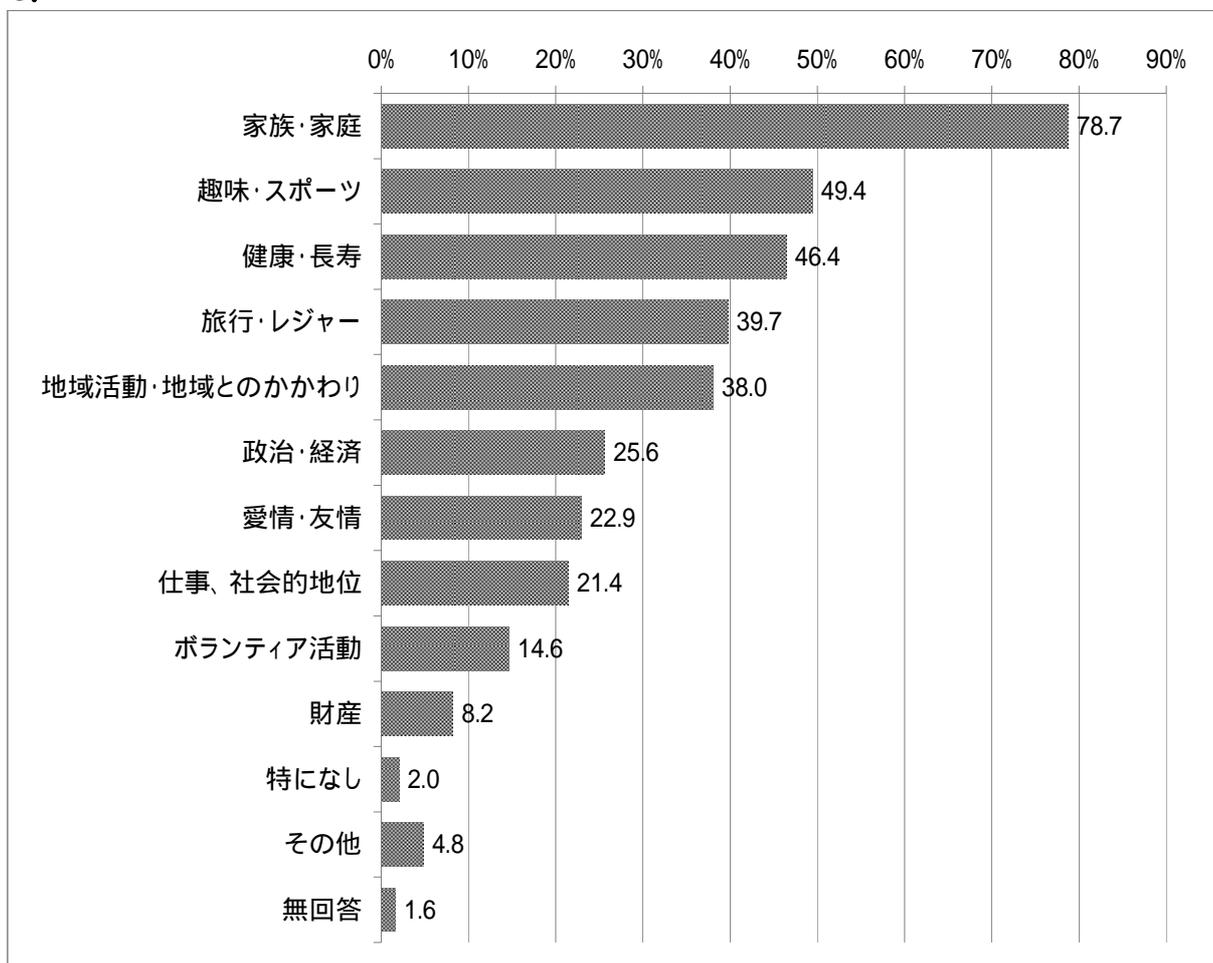
《長野県民の想いについて》

< 普段の生活で関心のあること >
 「家族・家庭」が約8割、次いで「趣味・スポーツ」が約5割

問4 普段何に関心をお持ちですか、又は生きがいとしていますか。(複数回答)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
家族・家庭		743	78.7
趣味・スポーツ		466	49.4
健康・長寿		438	46.4
旅行・レジャー		375	39.7
地域活動・地域とのかかわり		359	38.0
政治・経済		242	25.6
愛情・友情		216	22.9
仕事、社会的地位		202	21.4
ボランティア活動		138	14.6
財産		77	8.2
特になし		19	2.0
その他		45	4.8
無回答		15	1.6

「家族・家庭」が78.7%と最も高く、次に「趣味・スポーツ」(49.4%)、「健康・長寿」(46.4%)が高い割合となっている。



《長野県民の想いについて》

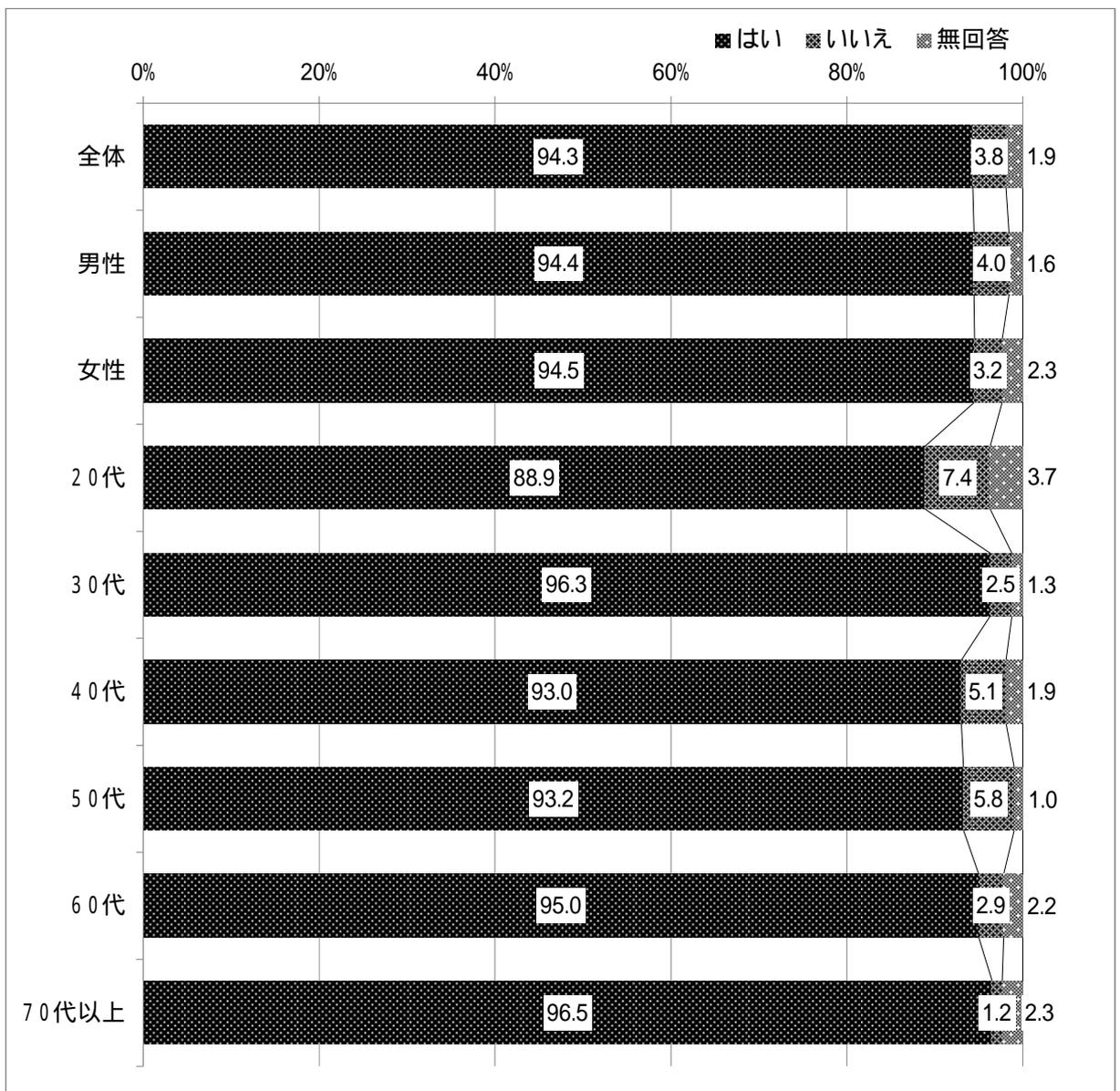
<長野県に住み続けたいと思うか>

9割以上が長野県に住み続けたいと思い、その理由として「自然が美しい」・「安心・安全なおいしいものがあるから」が多くを占めている。

問5 長野県に住み続けたいと思いますか。「はい」の場合はその理由も選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
はい		890	94.3
いいえ		36	3.8
無回答		18	1.9

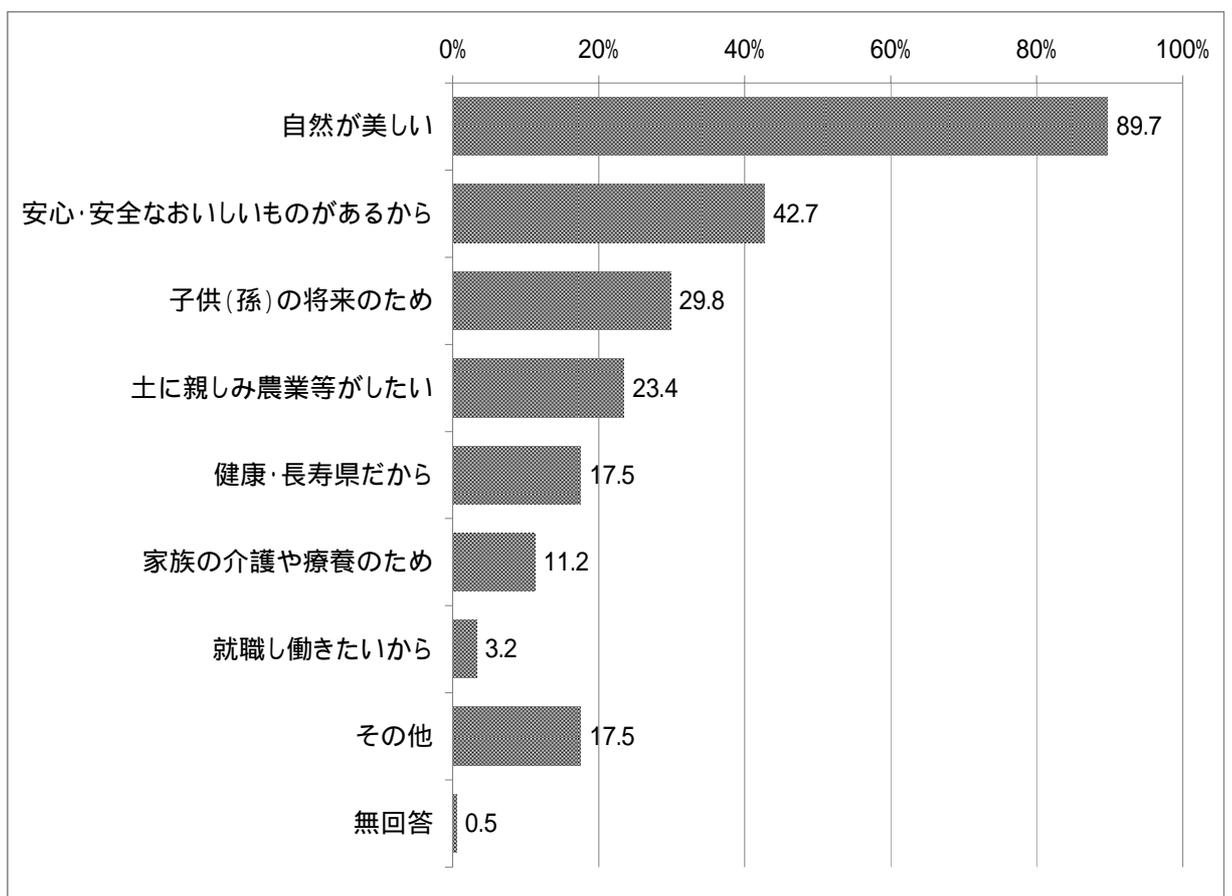
「住み続けたいと思う」が全体の94.3%を占めている。
年代別では、20代においては「住み続けたい」が他の年代に比べて88.9%と低く、30代(96.3%)・60代(95.0%)・70代(96.5%)が全体の平均より高い。



「はい」の場合の理由(複数回答)

	n= 890	回答数 (人)	割合 (%)
自然が美しい		798	89.7
安心・安全なおいしいものがあるから		380	42.7
子供(孫)の将来のため		265	29.8
土に親しみ農業等がしたい		208	23.4
健康・長寿県だから		156	17.5
家族の介護や療養のため		100	11.2
就職し働きたいから		28	3.2
その他		156	17.5
無回答		5	0.6

「自然が美しい」が89.7%と最も高く、次に「安心・安全なおいしいものがあるから」(42.7%)と続いている。



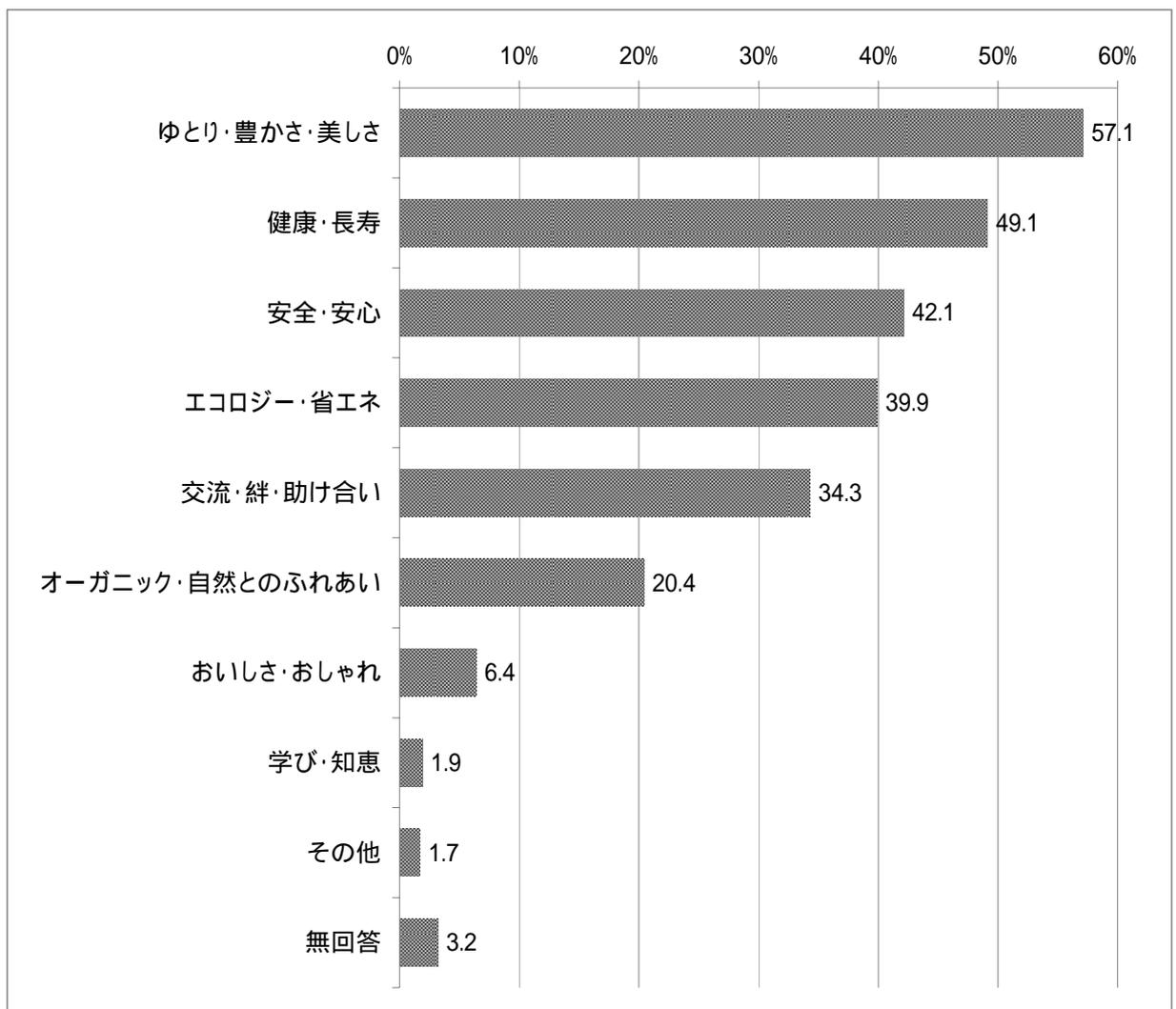
《長野県民の想いについて》

＜あなたの感性にマッチする価値観＞
 「ゆとり・豊かさ・美しさ」が約6割、「健康・長寿」が約5割

問6 あなたの感性にマッチする(合う)「価値観」は何ですか。(3つまで)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
ゆとり・豊かさ・美しさ		539	57.1
健康・長寿		463	49.1
安全・安心		397	42.1
エコロジー・省エネ		377	39.9
交流・絆・助け合い		324	34.3
オーガニック・自然とのふれあい		193	20.4
おいしさ・おしゃれ		60	6.4
学び・知恵		18	1.9
その他		16	1.7
無回答		30	3.2

「ゆとり・豊かさ・美しさ」が57.1%と最も高く、次に「健康・長寿」(49.1%)、「安全・安心」(42.1%)が高い割合となっている。



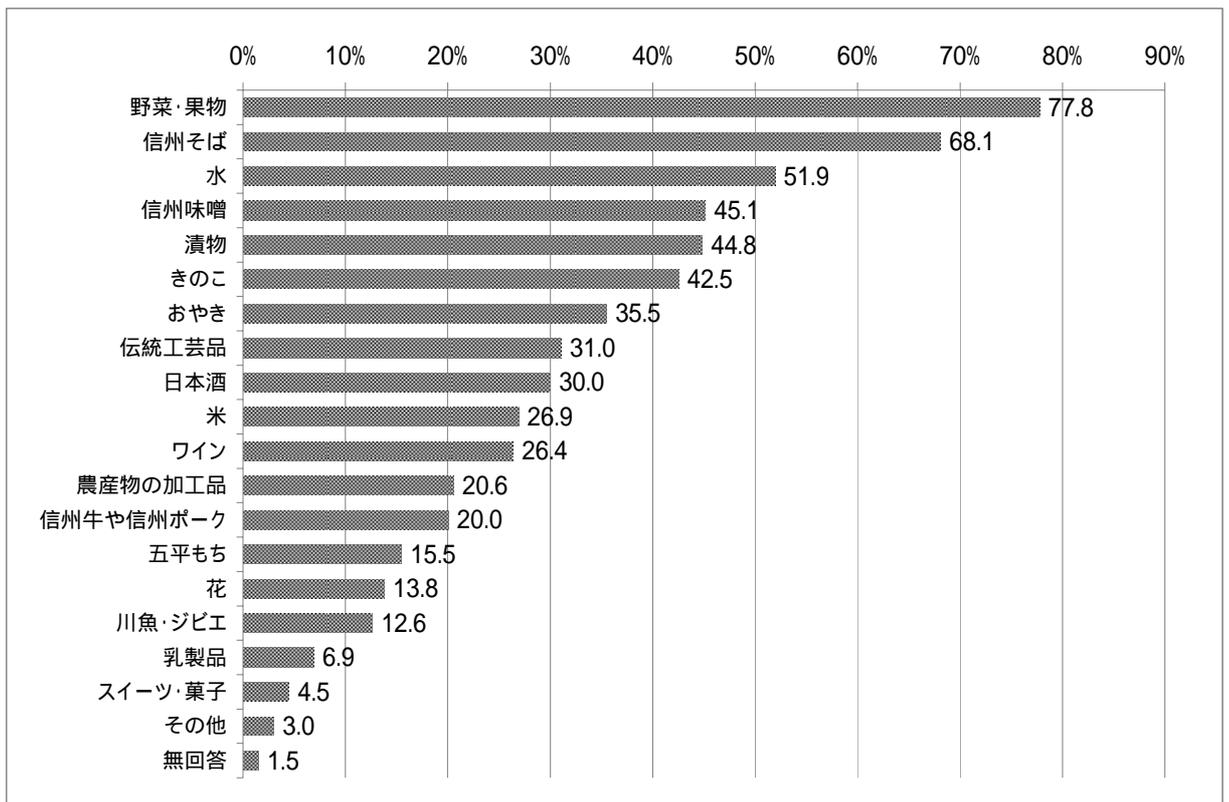
《長野県の物産について》

<長野県の物産で薦めたいもの>
 「野菜・果物」が約8割、「信州そば」が約7割

問7 長野県の物産で県内外の方に薦めたいものは何ですか。(複数回答)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
野菜・果物		734	77.8
信州そば		643	68.1
水		490	51.9
信州味噌		426	45.1
漬物		423	44.8
きのこ		401	42.5
おやき		335	35.5
伝統工芸品		293	31.0
日本酒		283	30.0
米		254	26.9
ワイン		249	26.4
農産物の加工品		194	20.6
信州牛や信州ポーク		189	20.0
五平もち		146	15.5
花		130	13.8
川魚・ジビエ		119	12.6
乳製品		65	6.9
スイーツ・菓子		42	4.5
その他		28	3.0
無回答		14	1.5

「野菜・果物」が77.8%と最も高く、次に「信州そば」(68.1%)、「水」(51.9%)が高い割合となっている。



《県産農産物》

< 信州のオリジナル食材等の認知度 >

りんご3兄弟(シナノスイート・シナノゴールド・秋映)の認知度は7割を超えるとともに、8～10ポイントの伸びとなっている。「信州サーモン」の認知度は8割を超えるとともに、12.5ポイントの伸びとなっている。

また、「おいしい信州ふーど(風土)宣言」も約1/4に認知されている。

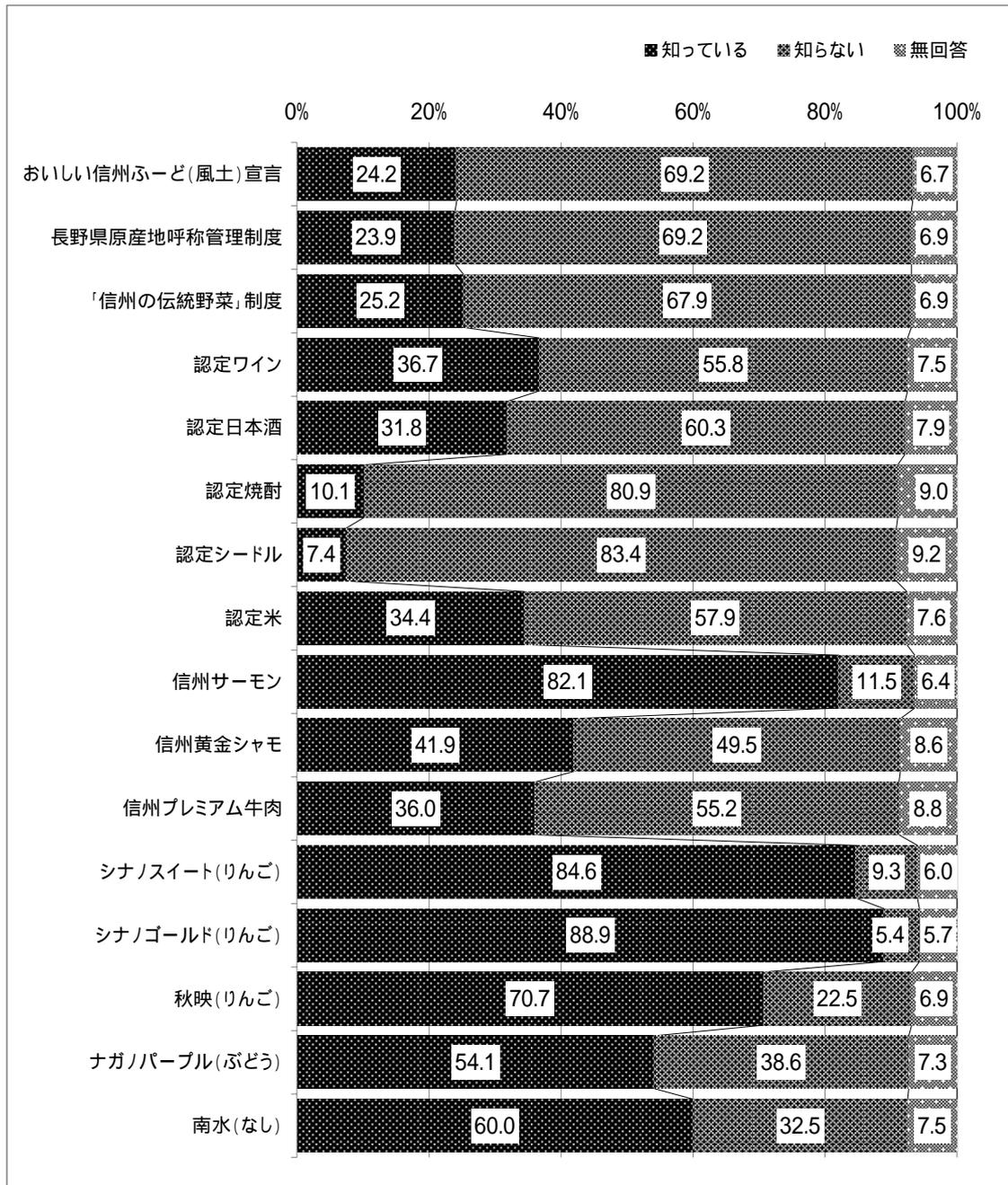
問8 長野県では県産農産物の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取り組みや制度、オリジナル食材をご存知ですか。項目ごとにお答えください。

上段: 回答者数(人)

下段: 割合(%)

		知っていますか(n=944)			(参考)23年度(n=1,206) 知っていますか		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
	おいしい信州ふーど(風土)宣言	228 24.2	653 69.2	63 6.7			
	長野県原産地呼称管理制度	226 23.9	653 69.2	65 6.9	246 20.4	747 61.9	213 17.7
	「信州の伝統野菜」制度	238 25.2	641 67.9	65 6.9	244 20.2	724 60.0	238 19.7
原産地呼称	認定ワイン	346 36.7	527 55.8	71 7.5	389 32.3	688 57.0	129 10.7
	認定日本酒	300 31.8	569 60.3	75 7.9	351 29.1	727 60.3	128 10.6
	認定焼酎	95 10.1	764 80.9	85 9.0	180 14.9	893 74.0	133 11.0
	認定シードル	70 7.4	787 83.4	87 9.2	86 7.1	965 80.0	155 12.9
	認定米	325 34.4	547 57.9	72 7.6	382 31.7	693 57.5	131 10.9
		信州サーモン	775 82.1	109 11.5	60 6.4	839 69.6	264 21.9
	信州黄金シャモ	396 41.9	467 49.5	81 8.6	400 33.2	680 56.4	126 10.4
	信州プレミアム牛肉	340 36.0	521 55.2	83 8.8	394 32.7	689 57.1	123 10.2
	シナノスイート (りんご)	799 84.6	88 9.3	57 6.0	921 76.4	202 16.7	83 6.9
	シナノゴールド (りんご)	839 88.9	51 5.4	54 5.7	942 78.1	179 14.8	85 7.0
	秋映 (りんご)	667 70.7	212 22.5	65 6.9	740 61.4	372 30.8	94 7.8
	ナガノパープル (ぶどう)	511 54.1	364 38.6	69 7.3	574 47.6	522 43.3	110 9.1
	南水 (なし)	566 60.0	307 32.5	71 7.5	668 55.4	442 36.7	96 8.0

信州オリジナル食材では、「シナノゴールド」(88.9%)、「シナノスイート」(84.6%)とりんごの認知度が高く、「信州サーモン」(82.1%)が続いている。



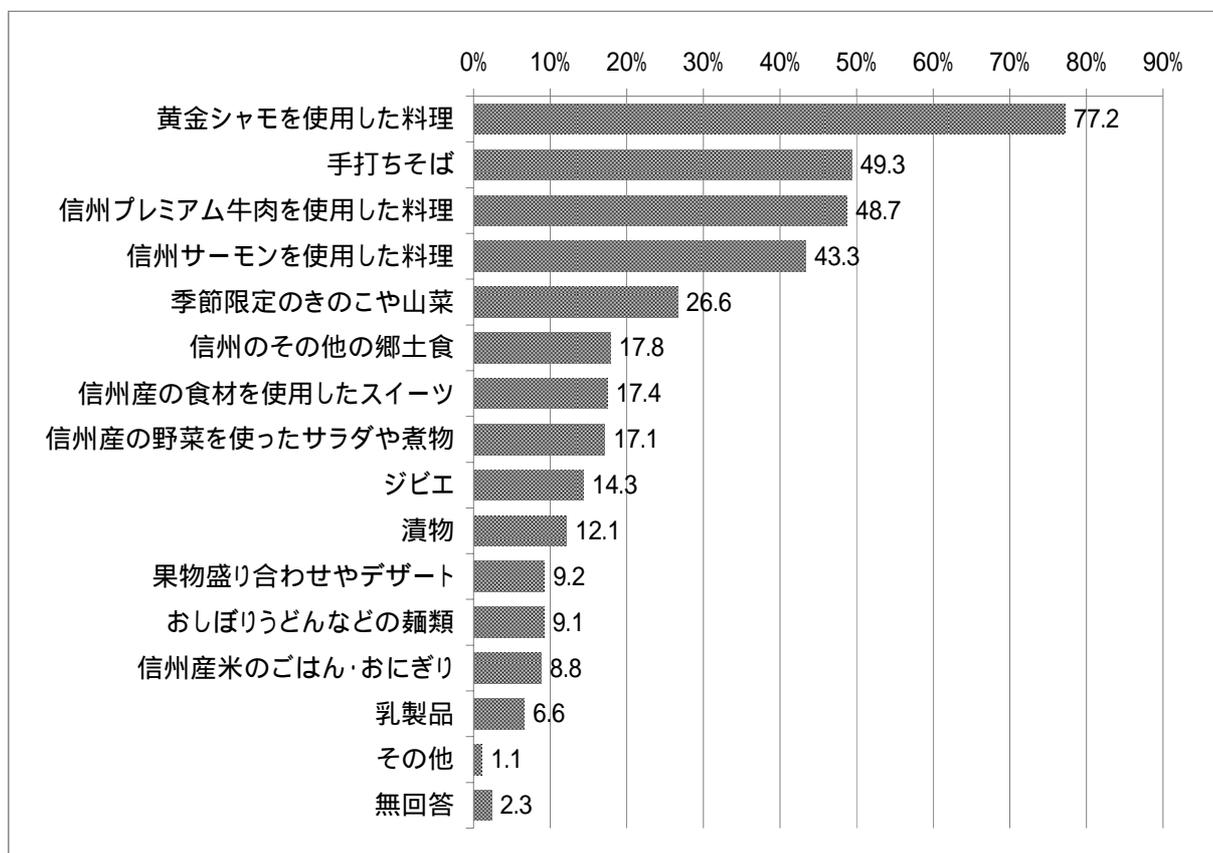
《長野県の物産について》

< 県産の食材・メニューで食べてみたいもの、飲んでみたいもの >
 「黄金シャモを使用した料理」が8割強、「果物のジュース」が4割強

問9 長野県産の食材・メニューで食べてみたいもの・飲んでみたいものは何ですか。(食べたいもの3つ・飲みたいもの2つまで)

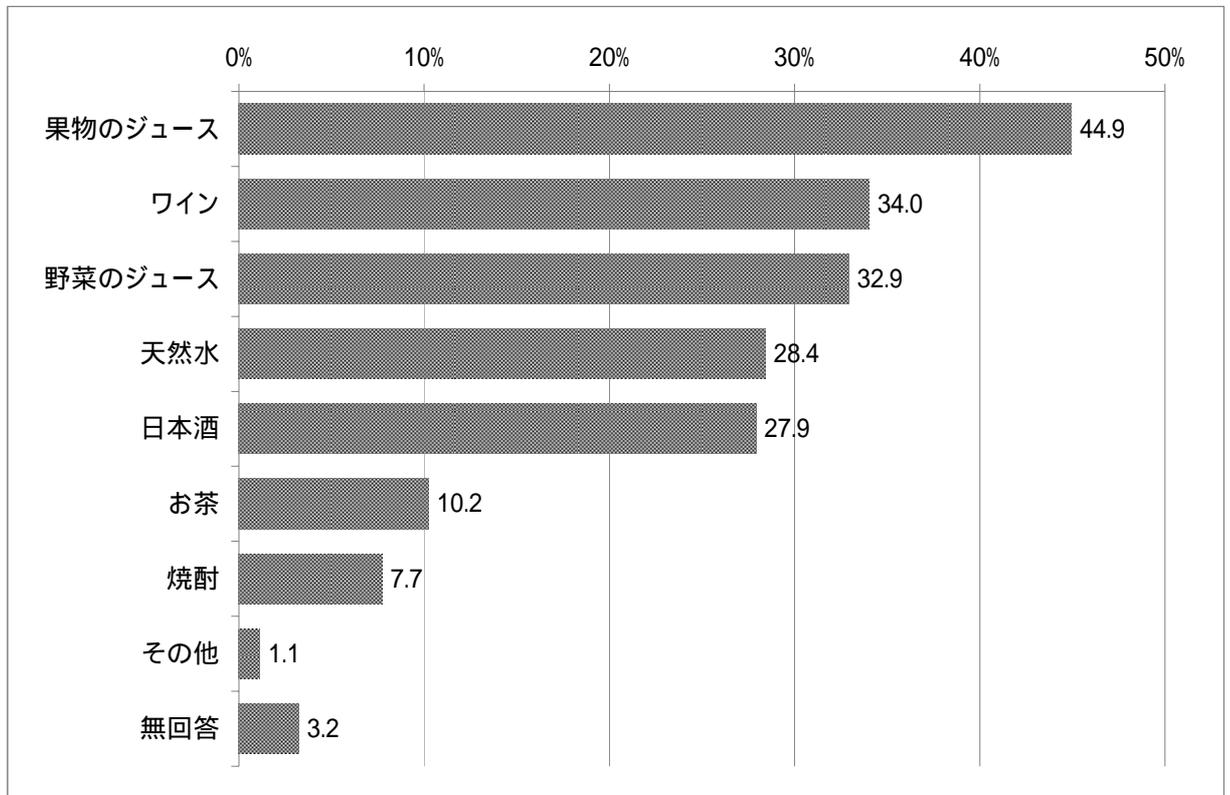
< 食べてみたいもの >	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
黄金シャモを使用した料理		729	77.2
手打ちそば		465	49.3
信州プレミアム牛肉を使用した料理		460	48.7
信州サーモンを使用した料理		409	43.3
季節限定のきのこや山菜		251	26.6
信州のその他の郷土食		168	17.8
信州産の食材を使用したスイーツ		164	17.4
信州産の野菜を使ったサラダや煮物		161	17.1
ジビエ		135	14.3
漬物		114	12.1
果物盛り合わせやデザート		87	9.2
おしぼりうどんなどの麺類		86	9.1
信州産米のごはん・おにぎり		83	8.8
乳製品		62	6.6
その他		10	1.1
無回答		22	2.3

「黄金シャモを使用した料理」が77.2%と最も高く、次に「手打ちそば」(49.3%)、「信州プレミアム牛肉を使用した料理」(48.7%)が高い割合となっている。



<飲んみたいもの>	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
果物のジュース		424	44.9
ワイン		321	34.0
野菜のジュース		311	32.9
天然水		268	28.4
日本酒		263	27.9
お茶		96	10.2
焼酎		73	7.7
その他		10	1.1
無回答		30	3.2

「果物のジュース」が44.9%と最も高く、次に「ワイン」(34.0%)、「野菜のジュース」(32.9%)が高い割合となっている。



< 農産物購入時の意識 >

野菜、果物、きのこは「常に意識して購入している」、「時々意識して購入している」を合わせた割合が7割を超えており、総じて「長野県産又は地場産」に対する購入意識は高い。

問10 あなたは、日頃、農産物を購入する際に、「長野県産又は地場産」を意識していますか、項目ごとにお答えください。

n=944 (H23年度はn=1,206)

米	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H23年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	501	53.1	461	38.2
時々意識して購入している	184	19.5	195	16.2
意識していない	185	19.6	371	30.8
わからない	35	3.7	68	5.6
無回答	39	4.1	111	9.2

食肉	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H23年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	236	25.0	260	21.6
時々意識して購入している	317	33.6	366	30.3
意識していない	349	37.0	486	40.3
わからない	19	2.0	27	2.2
無回答	23	2.4	67	5.6

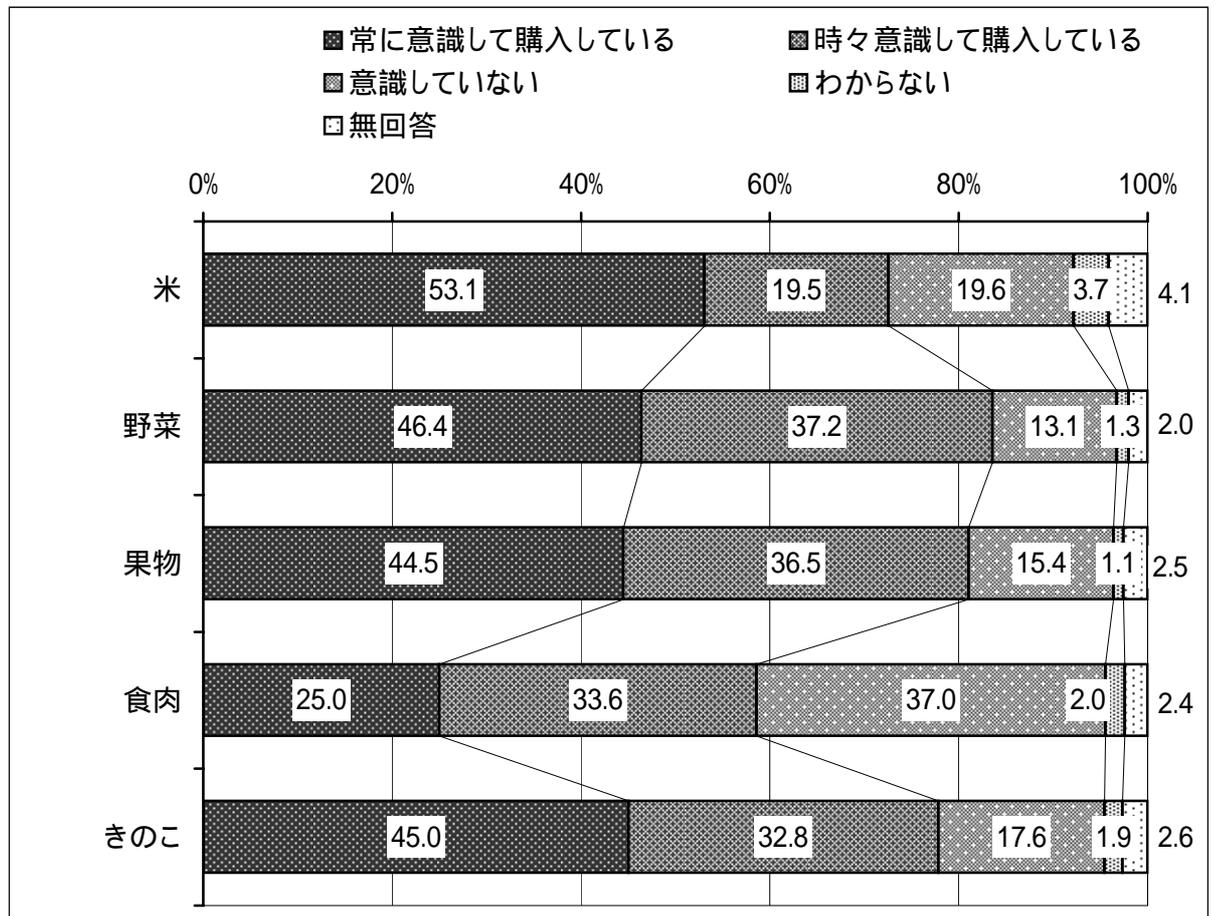
野菜	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H23年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	438	46.4	423	35.1
時々意識して購入している	351	37.2	429	35.6
意識していない	124	13.1	277	23.0
わからない	12	1.3	14	1.2
無回答	19	2.0	63	5.2

きのこ	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H23年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	425	45.0	415	34.4
時々意識して購入している	310	32.8	393	32.6
意識していない	166	17.6	313	26.0
わからない	18	1.9	15	1.2
無回答	25	2.6	70	5.8

果物	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H23年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	420	44.5	390	32.3
時々意識して購入している	345	36.5	415	34.4
意識していない	145	15.4	307	25.5
わからない	10	1.1	18	1.5
無回答	24	2.5	76	6.3

【品目別】

野菜、果物は8割以上が「長野県産又は地場産」を意識して購入している。また、米、きのこも7割を超えており、総じて農産物購入時における「長野県産又は地場産」の意識は高い。



《食生活上の実践度について》

< 食生活における取り組み >

食生活上の実践において、すべての項目で「おおむねできている」又は「ほとんどできている」と回答した者は全体の54.6%となっている。

問11 あなたは、日常の食生活についてどの程度実践していますか。
項目ごとにお答えください。

n=944

食事を楽しむ	回答数 (人)	割合 (%)
ほとんどできている	259	27.4
おおむねできている	531	56.3
あまりできていない	136	14.4
まったくできていない	4	0.4
無回答	14	1.5

主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	回答数 (人)	割合 (%)
ほとんどできている	208	22.0
おおむねできている	488	51.7
あまりできていない	158	16.7
まったくできていない	9	1.0
無回答	81	8.6

ごはんなどの穀類をしっかりとる	回答数 (人)	割合 (%)
ほとんどできている	447	47.4
おおむねできている	349	37.0
あまりできていない	64	6.8
まったくできていない	2	0.2
無回答	82	8.7

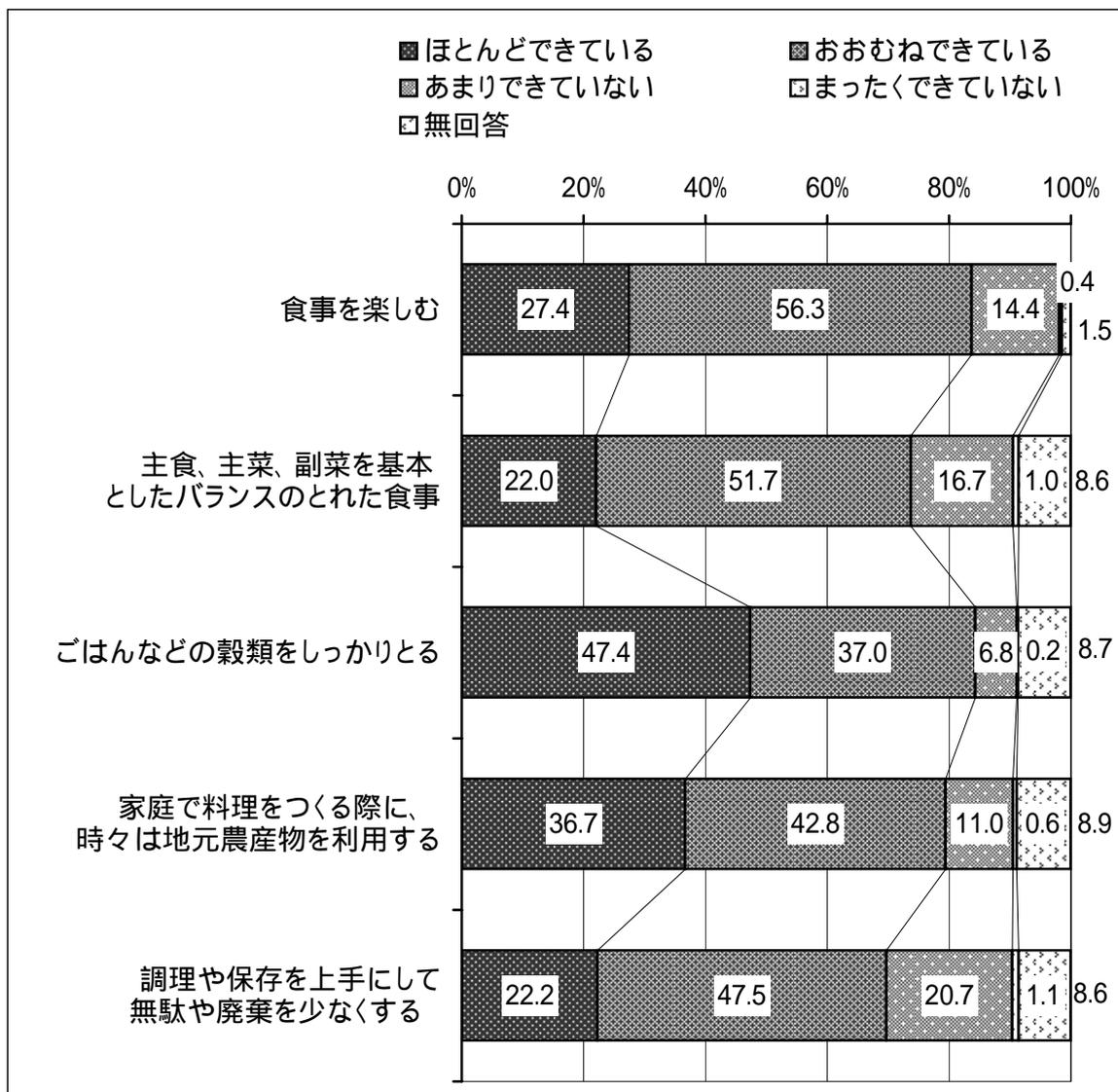
家庭で料理をつくる際に、時々地元農産物を利用する	回答数 (人)	割合 (%)
ほとんどできている	346	36.7
おおむねできている	404	42.8
あまりできていない	104	11.0
まったくできていない	6	0.6
無回答	84	8.9

調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なくする	回答数 (人)	割合 (%)
ほとんどできている	210	22.2
おおむねできている	448	47.5
あまりできていない	195	20.7
まったくできていない	10	1.1
無回答	81	8.6

総合	回答数 (人)	割合 (%)
から のすべてが「おおむねできている」又は「ほとんどできている」と回答した者	515	54.6
から の中に1項目以上「あまりできていない」又は「まったくできていない」と回答した者	429	45.4

【区分別】

「ごはんなどの穀物をしっかりとる」は8割以上が「できている」と答えている。
 また、「食事を楽しむ」、「主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事」、「家庭で料理をつくる際に時々地元農産物を利用する」の実践についても7割以上が「できている」であり、食生活上の実践度はいずれも高い水準にある。



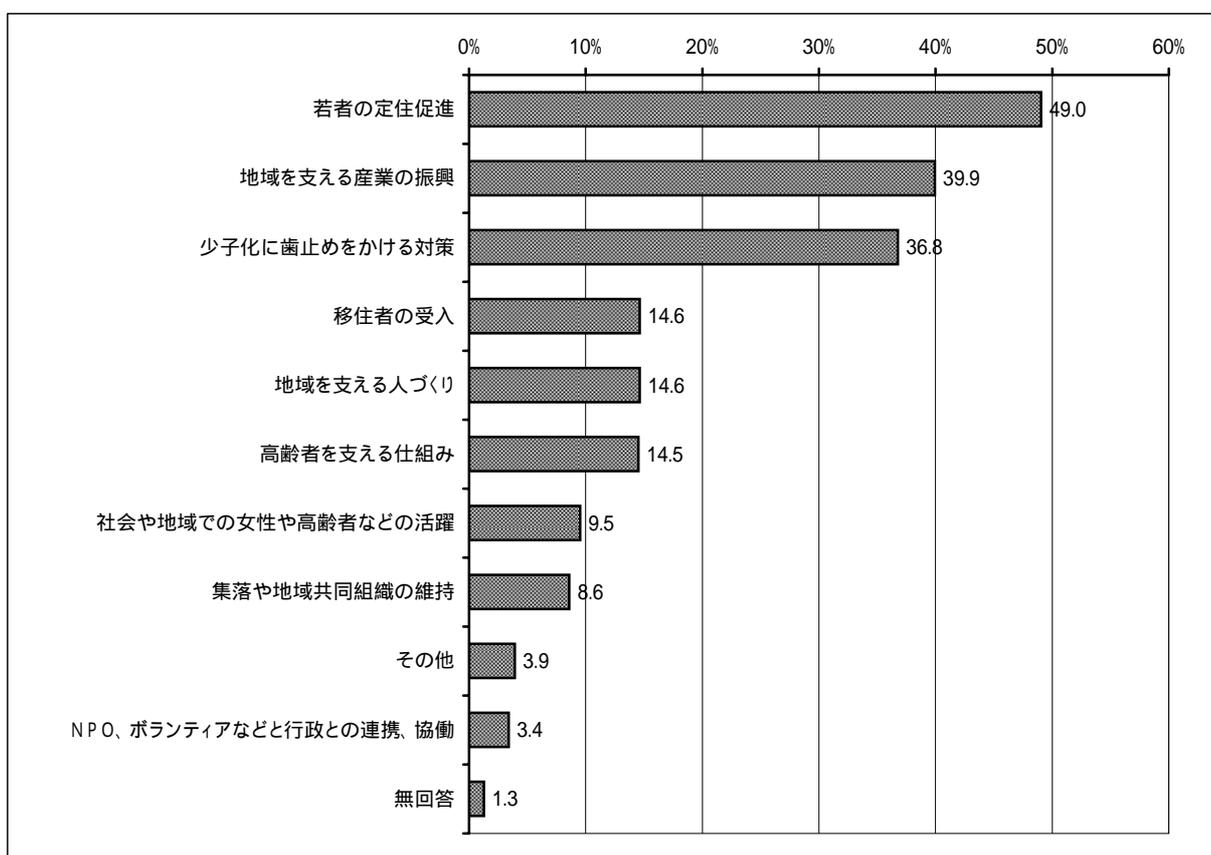
《新たな総合5か年計画～長野県の現状と課題～》

<人口減少社会において、今後特に重要なこと>
 「若者の定住促進が」が約5割、次いで「産業の振興」が約4割

問12 長野県では、これからの20年の間に人口が約30万人減少すると見込まれています。このような人口減少社会において、今後特に重要と感じることは何だと思いませんか。あてはまるものを選んでください。(は2つまで)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
若者の定住促進		463	49.0
地域を支える産業の振興		377	39.9
少子化に歯止めをかける対策		347	36.8
移住者の受入		138	14.6
地域を支える人づくり		138	14.6
高齢者を支える仕組み		137	14.5
社会や地域での女性や高齢者などの活躍		90	9.5
集落や地域共同組織の維持		81	8.6
その他		37	3.9
NPO、ボランティアなどと行政との連携、協働		32	3.4
無回答		12	1.3

「若者の定住促進」が49.0%と最も高く、次に「地域を支える産業の振興」(39.9%)、「少子化に歯止めをかける対策」(36.8%)が高い割合となっている。



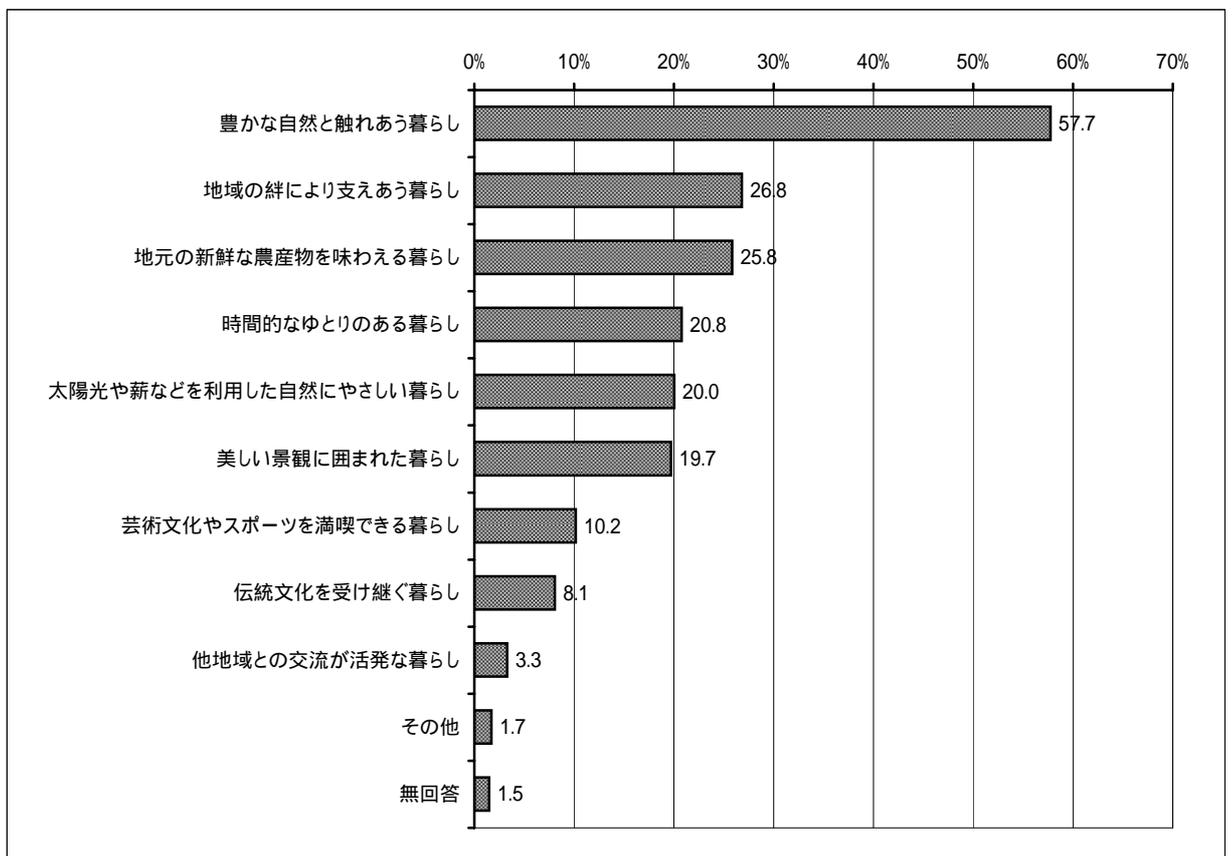
《新たな総合5か年計画～長野県の現状と課題～》

<信州らしいライフスタイル(暮らし方)のイメージ>
 「豊かな自然と触れあう暮らし」が約6割、次いで「地域の絆により支えあう暮らし」が3割弱

問13 「信州らしいライフスタイル(暮らし方)」としてあなたがイメージするのはどのような暮らしですか。あてはまるものを選んでください。(は2つまで)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
豊かな自然と触れあう暮らし		545	57.7
地域の絆により支えあう暮らし		253	26.8
地元の新鮮な農産物を味わえる暮らし		244	25.8
時間的なゆとりのある暮らし		196	20.8
太陽光や薪などを利用した自然にやさしい暮らし		189	20.0
美しい景観に囲まれた暮らし		186	19.7
芸術文化やスポーツを満喫できる暮らし		96	10.2
伝統文化を受け継ぐ暮らし		76	8.1
他地域との交流が活発な暮らし		31	3.3
その他		16	1.7
無回答		14	1.5

「豊かな自然と触れあう暮らし」が57.7%と最も高く、次に「地域の絆により支えあう暮らし」(26.8%)、「地元の新鮮な農産物を味わえる暮らし」(25.8%)が高い割合となっている。



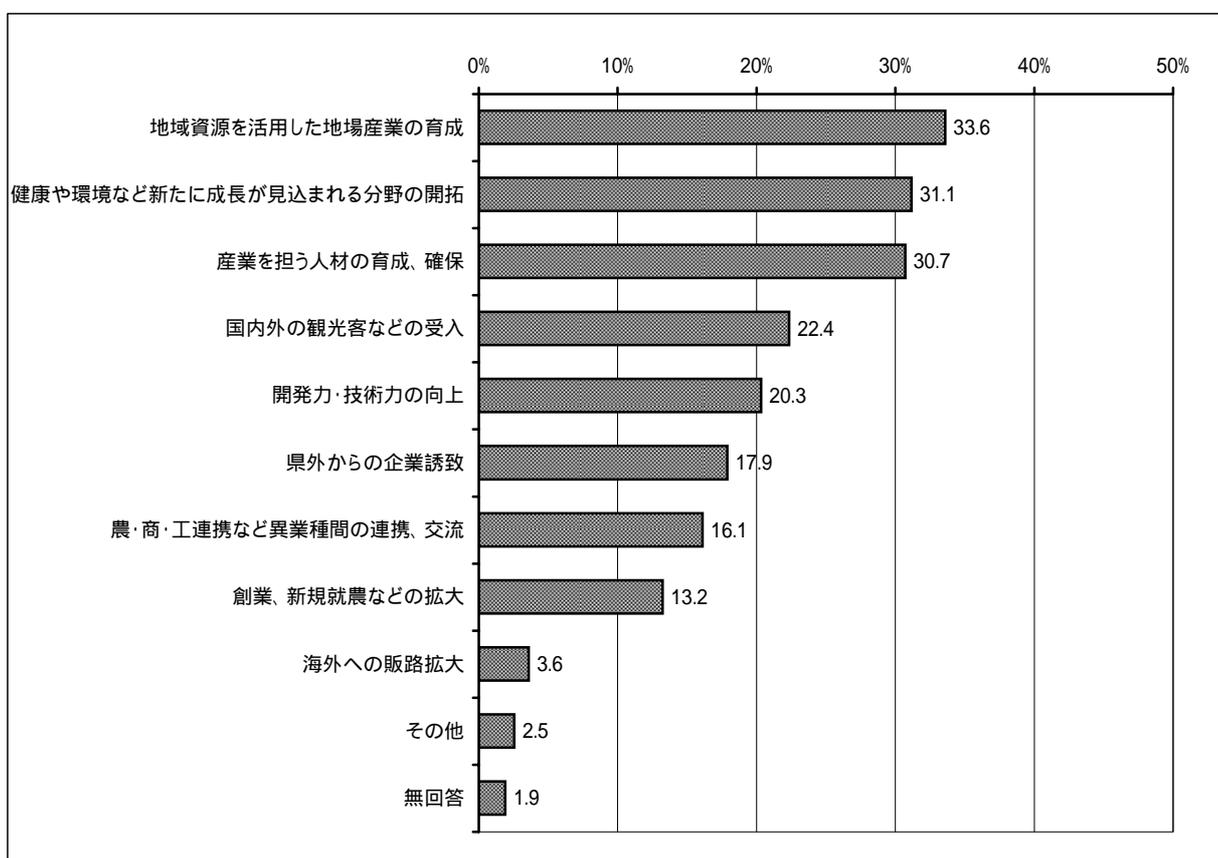
《新たな総合5か年計画～長野県の現状と課題～》

<長野県経済の活力を維持するために、今後特に重要と感ずること>
 「地域資源を活用した地場産業の育成」が3割超、次いで「成長分野の開拓」、「人材育成」が約3割

問14 長野県経済の活力を維持するために、今後特に重要と感ずることは何だと思ひますか。あてはまるものを選んでください。(は2つまで)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
地域資源を活用した地場産業の育成		317	33.6
健康や環境など新たに成長が見込まれる分野の開拓		294	31.1
産業を担う人材の育成、確保		290	30.7
国内外の観光客などの受入		211	22.4
開発力・技術力の向上		192	20.3
県外からの企業誘致		169	17.9
農・商・工連携など異業種間の連携、交流		152	16.1
創業、新規就農などの拡大		125	13.2
海外への販路拡大		34	3.6
その他		24	2.5
無回答		18	1.9

「地域資源を活用した地場産業の育成」が33.6%と最も高く、次に「健康や環境など新たに成長が見込まれる分野の開拓」(31.1%)、「産業を担う人材の育成、確保」(30.7%)が高い割合となっている。



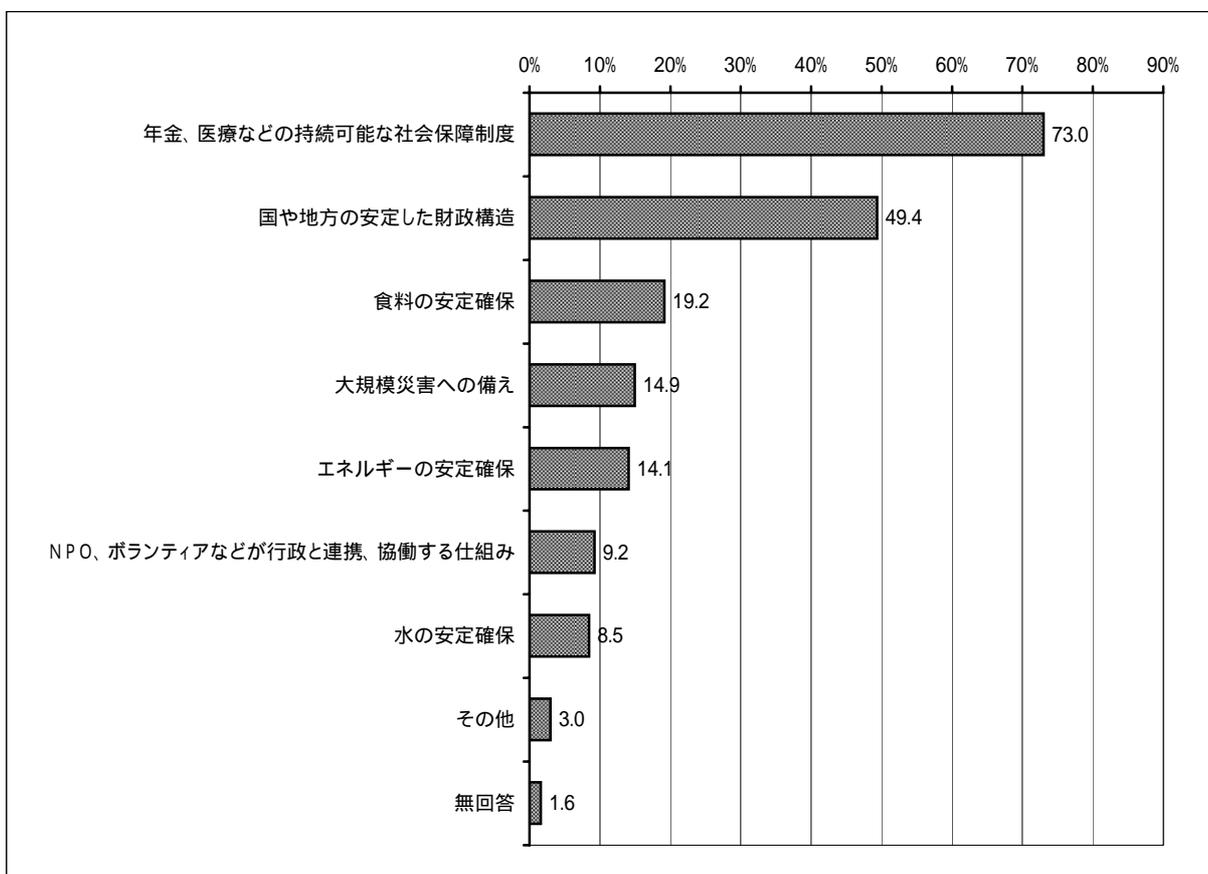
《新たな総合5か年計画～長野県の現状と課題～》

＜社会を支える仕組みについて、今後特に必要と感じるもの＞
 「年金、医療などの持続可能な社会保障制度」が7割超、次いで「国や地方の財政構造」が約5割

問15 社会を支える仕組みについて、今後特に必要と感じるものは何だと思えますか。あてはまるものを選んでください。(は2つまで)

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
年金、医療などの持続可能な社会保障制度		689	73.0
国や地方の安定した財政構造		466	49.4
食料の安定確保		181	19.2
大規模災害への備え		141	14.9
エネルギーの安定確保		133	14.1
NPO、ボランティアなどが行政と連携、協働する仕組み		87	9.2
水の安定確保		80	8.5
その他		28	3.0
無回答		15	1.6

「年金、医療などの持続可能な社会保障制度」が73.0%と最も高く、次に「国や地方の安定した財政構造」(49.4%)、「食料の安定確保」(19.2%)が高い割合となっている。



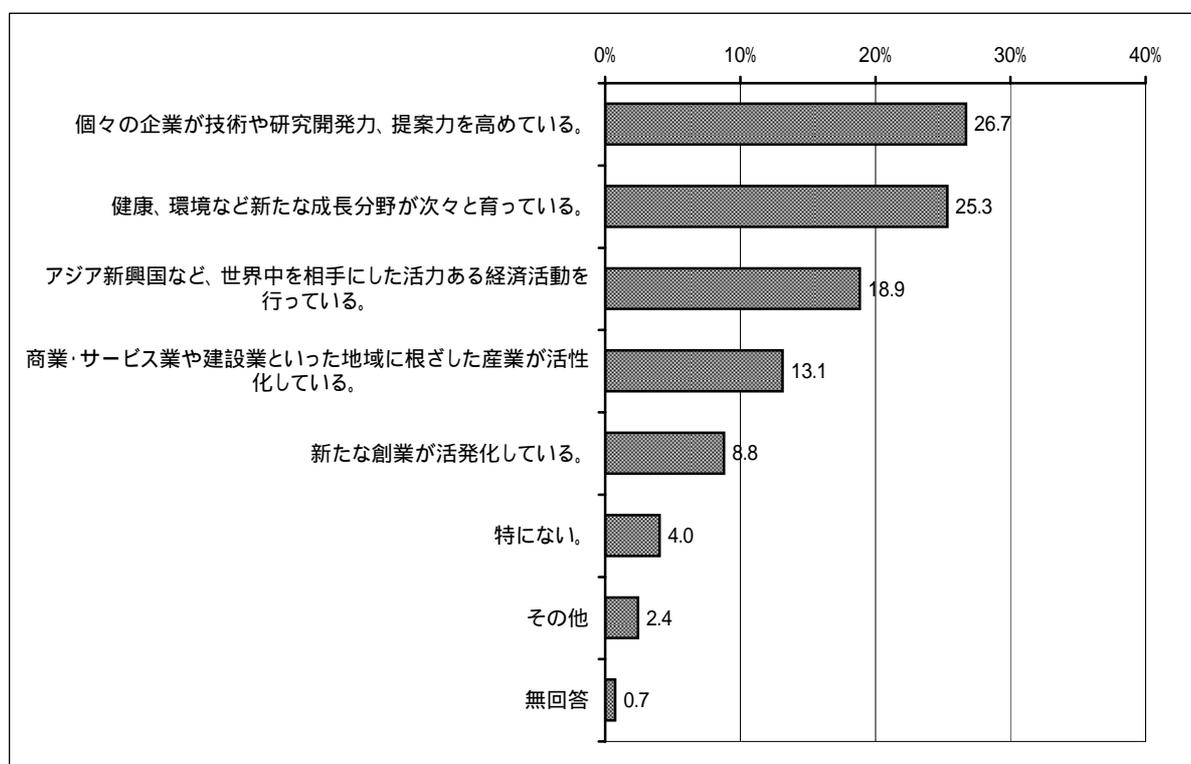
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ1(世界への貢献)

<(世界をリードする最先端産業)>
「企業の技術や研究開発力、提案力」が3割弱

問 16-1 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
個々の企業が技術や研究開発力、提案力を高めている。		252	26.7
健康、環境など新たな成長分野が次々と育っている。		239	25.3
アジア新興国など、世界中を相手にした活力ある経済活動を行っている。		178	18.9
商業・サービス業や建設業といった地域に根ざした産業が活性化している。		124	13.1
新たな創業が活発化している。		83	8.8
特にない。		38	4.0
その他		23	2.4
無回答		7	0.7

「企業の技術や研究開発力、提案力」が26.7%と最も高く、次に「新たな成長分野」(25.3%)、「世界中を相手にした経済活動」(18.9%)が高い割合となっている。



《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ1(世界への貢献)

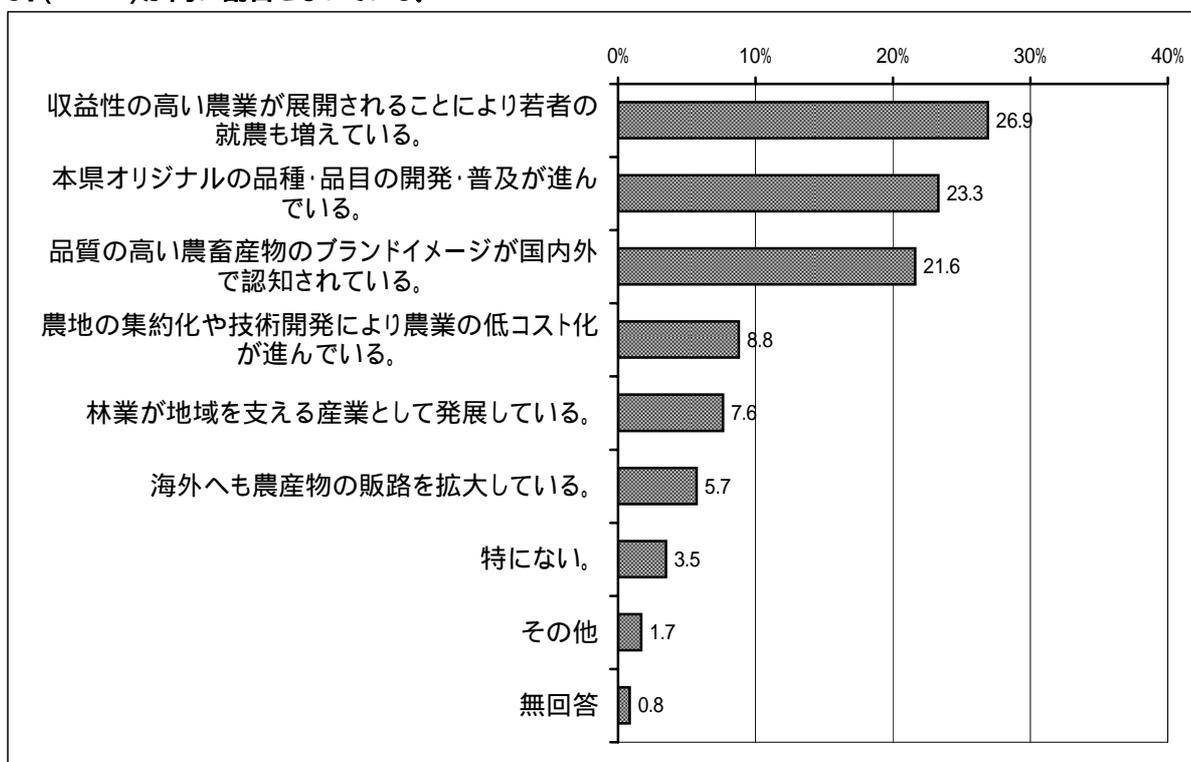
<(世界品質の農産物)>

「収益性の高い農業が展開されることによる若者の就農」が3割弱

問 16-2 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
収益性の高い農業が展開されることにより若者の就農も増えている。		254	26.9
本県オリジナルの品種・品目の開発・普及が進んでいる。		220	23.3
品質の高い農畜産物のブランドイメージが国内外で認知されている。		204	21.6
農地の集約化や技術開発により農業の低コスト化が進んでいる。		83	8.8
林業が地域を支える産業として発展している。		72	7.6
海外へも農産物の販路を拡大している。		54	5.7
特にない。		33	3.5
その他		16	1.7
無回答		8	0.8

「収益性の高い農業が展開されることによる若者の就農」が26.9%と最も高く、次に「本県オリジナルの品種・品目の開発・普及が進んでいる」(23.3%)、「品質の高い農畜産物のブランドイメージが国内外で認知されている」(21.6%)が高い割合となっている。



《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ1(世界への貢献)

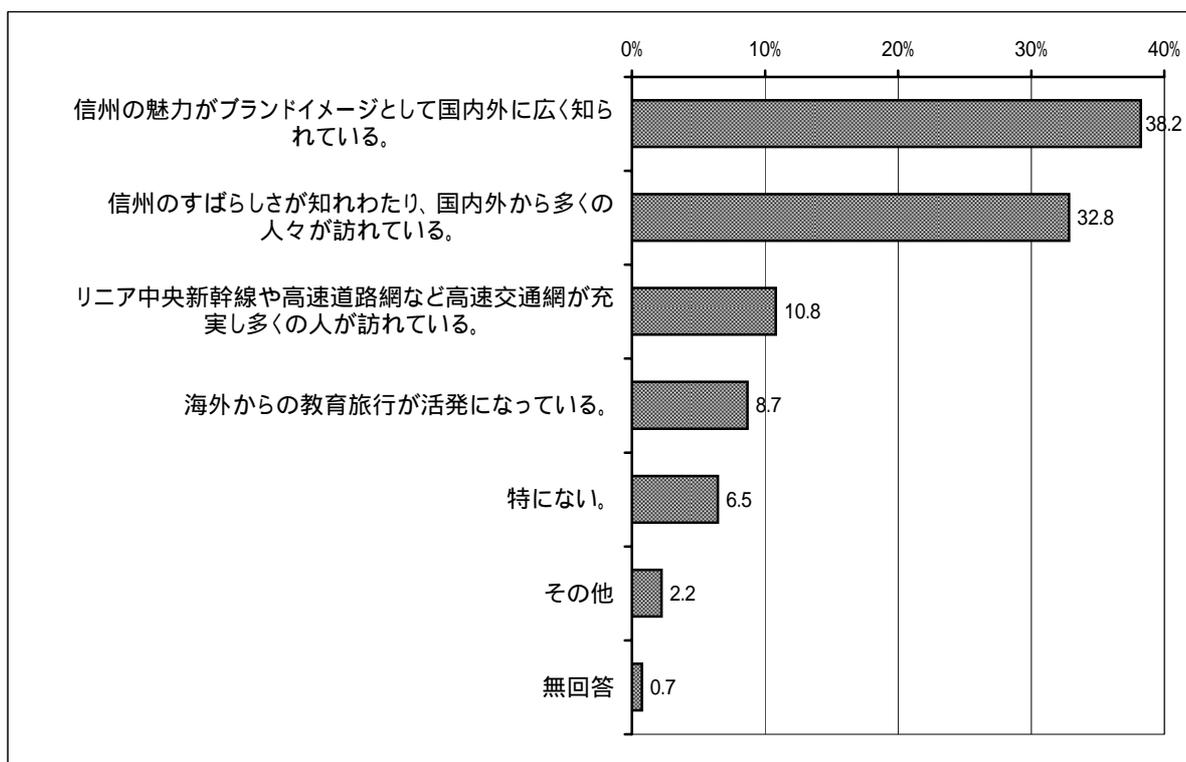
<(世界に選ばれる信州の魅力)>

「信州の魅力がブランドイメージとして国内外に広く知られている」が約4割

問 16-3 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
信州の魅力がブランドイメージとして国内外に広く知られている。		361	38.2
信州のすばらしさが知れわたり、国内外から多くの人々が訪れている。		310	32.8
リニア中央新幹線や高速道路網など高速交通網が充実し多くの人々が訪れている。		102	10.8
海外からの教育旅行が活発になっている。		82	8.7
特にない。		61	6.5
その他		21	2.2
無回答		7	0.7

「信州の魅力がブランドイメージとして国内外に広く知られている」が38.2%と最も高く、次に「信州のすばらしさが知れわたり、国内外から多くの人々が訪れている」(32.8%)、「リニア中央新幹線や高速道路網など高速交通網が充実し多くの人々が訪れている。」(10.8%)が高い割合となっている。



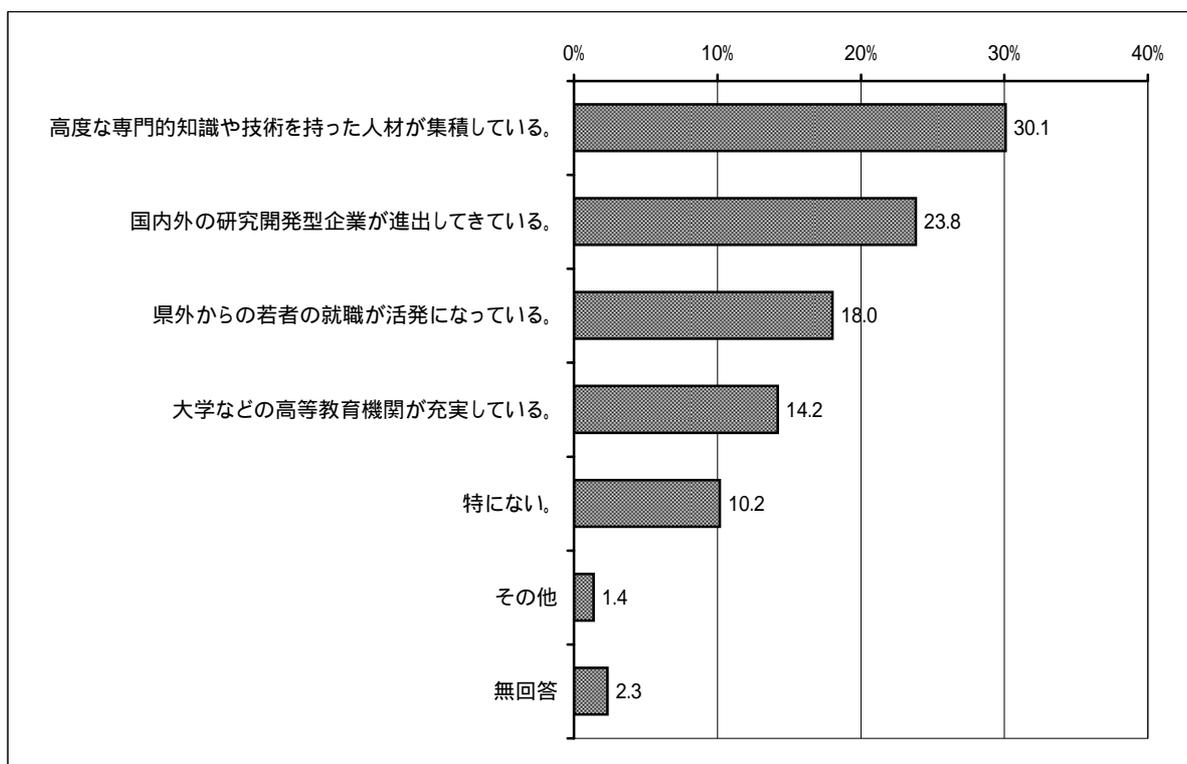
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ1(世界への貢献)

<(知の拠点)>
 「高度な専門的知識や技術を持った人材の集積」が約3割

問 16-4 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
高度な専門的知識や技術を持った人材が集積している。		284	30.1
国内外の研究開発型企業が進出してきている。		225	23.8
県外からの若者の就職が活発になっている。		170	18.0
大学などの高等教育機関が充実している。		134	14.2
特にない。		96	10.2
その他		13	1.4
無回答		22	2.3

「高度な専門的知識や技術を持った人材の集積」が30.1%と最も高く、次に「国内外の研究開発型企業が進出してきている」(23.8%)、「県外からの若者の就職が活発になっている」(18.0%)が高い割合となっている。



テーマ1 （世界への貢献） 〔自由記載欄〕における主なご意見・ご提言

《環境について》

- ・ 自然エネルギーの活用に適した環境を活かして、エネルギー利用のモデル地域を確立したり、長野県の技術力をPRして世界に貢献してはどうか。
- ・ 水はこれからもっとも大切な資源になる。豊かな水資源をこれからも同じよう可以使用できるような取組が必要
- ・ 四季の移ろいを感じられる自然環境を、県民が主体となって維持し、それを世界に広く知らしめることが必要

《産業、雇用について》

- ・ 企業と大学等の連携が必要
- ・ 付加価値の高い産業の構築や、県内外へ伝統あるものづくりをアピールして、世界へと発信し信州の知名度を上げてほしい。
- ・ 貢献も大切ではあるが、県内の産業基盤強化が重要
- ・ 若者が働ける魅力ある産業や企業を育てることが必要
- ・ 産業における知恵や「勘」とも言うべき技術を受け継げる人材育成が重要
- ・ まずは県民が信州の自然や文化をよく知り、そのすばらしさを発見、再認識することが大切
- ・ 長野県の美しい自然などの魅力を世界に発信すべき。
- ・ 社会の経済的発展ばかりに重きを置くのではなく、地域独特の価値観や自然を大切にし、他地域の人達との連携も深めていくべき。
- ・ 安全で良質な食料を長野県から供給していくことが必要
- ・ 日本における信州の役割を明確にして、国内外に向けてさらなる情報発信をしていくことが必要

《健康・福祉について》

- ・ 高度な健康診断や、安心できる医療（介護）などにより、アジア圏も視野においた医療（介護）県として貢献してはどうか。
- ・ 貢献も大切ではあるが、県内の生活の安定が重要

《教育について》

- ・ 健康、文化、経済、科学の分野の教育に力を入れてほしい。
- ・ 家庭教育も含め、人格を成長させるための教育が必要
- ・ 英語を含め数力国語を話せる人材育成が必要
- ・ アジア諸国など世界との若年層の人的交流の促進が大切
- ・ 若者たちが信州を誇りに思う気持ちを持つことが重要

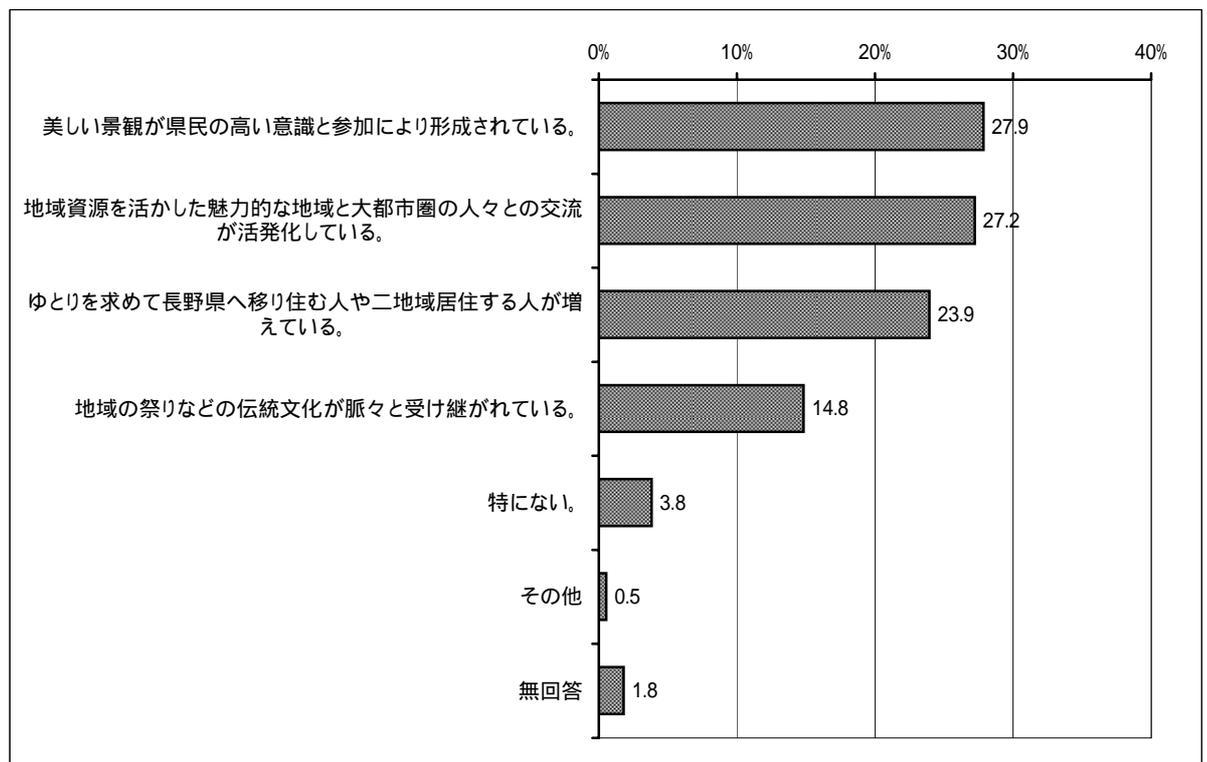
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ2(ゆとりのライフスタイル)

< (楽園信州) >
 「美しい景観」が約3割

問 17-1 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
美しい景観が県民の高い意識と参加により形成されている。		263	27.9
地域資源を活かした魅力的な地域と大都市圏の人々との交流が活発化している。		257	27.2
ゆとりを求めて長野県へ移り住む人や二地域居住する人が増えている。		226	23.9
地域の祭りなどの伝統文化が脈々と受け継がれている。		140	14.8
特にない。		36	3.8
その他		5	0.5
無回答		17	1.8

「美しい景観」が27.9%と最も高く、次に「地域資源を活かした魅力的な地域と大都市圏の人々との交流が活発化している」(27.2%)、「ゆとりを求めて長野県へ移り住む人や二地域居住する人が増えている」(23.9%)が高い割合となっている。



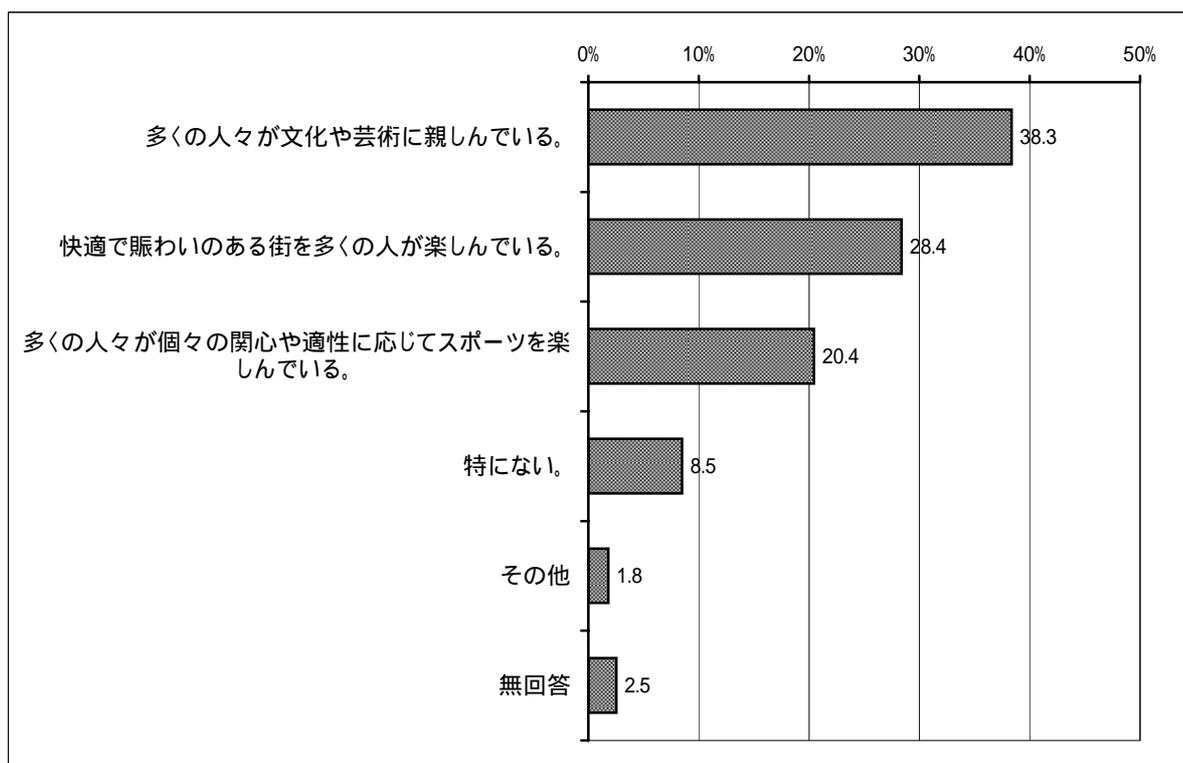
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ2(ゆとりのライフスタイル)

<(感動との出会い)>
「文化や芸術」が約4割

問 17-2 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
多くの人々が文化や芸術に親しんでいる。		362	38.3
快適で賑わいのある街を多くの人々が楽しんでいる。		268	28.4
多くの人々が個々の関心や適性に応じてスポーツを楽しんでいる。		193	20.4
特にない。		80	8.5
その他		17	1.8
無回答		24	2.5

「文化や芸術」が38.3%と最も高く、次に「快適で賑わいのある街を多くの人々が楽しんでいる。」(28.4%)が高い割合となっている。



《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ2(ゆとりのライフスタイル)

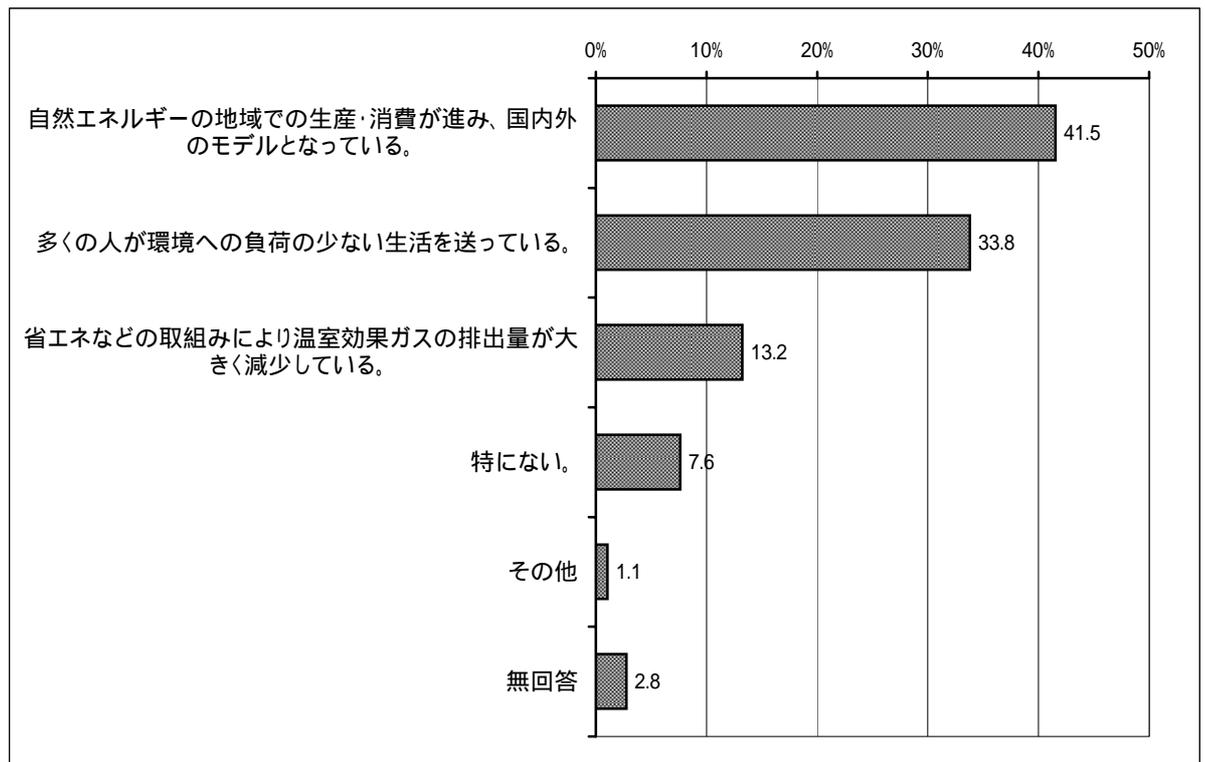
<(自然のお裾分け)>

「自然エネルギーの地域での生産・消費が進み、国内外のモデルとなっている」が約4割

問 17-3 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
自然エネルギーの地域での生産・消費が進み、国内外のモデルとなっている。		392	41.5
多くの人が環境への負荷の少ない生活を送っている。		319	33.8
省エネなどの取組みにより温室効果ガスの排出量が大きく減少している。		125	13.2
特にない。		72	7.6
その他		10	1.1
無回答		26	2.8

「自然エネルギーの地域での生産・消費が進み、国内外のモデルとなっている」が41.5%と最も高く、次に「多くの人が環境への負荷の少ない生活を送っている」(33.8%)が高い割合となっている。



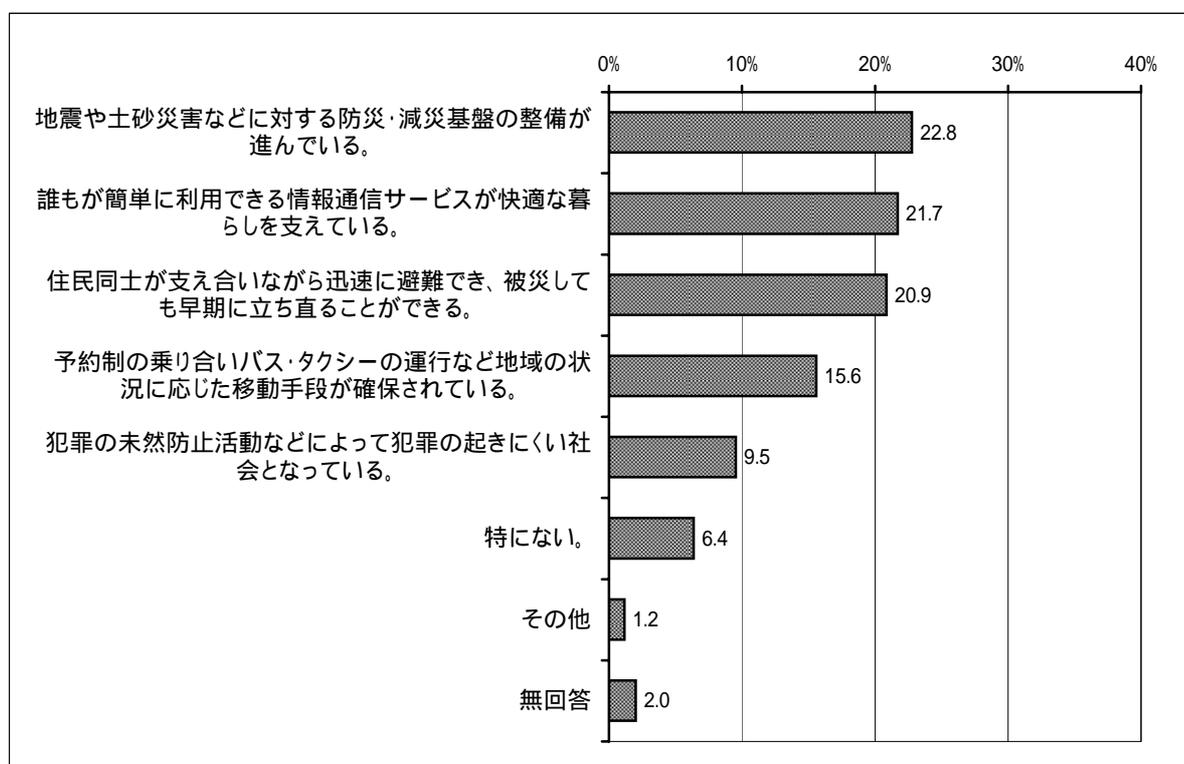
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ2(ゆとりのライフスタイル)

<(どこでもドアの信州)>
「防災・減災基盤」が2割超

問 17-4 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
地震や土砂災害などに対する防災・減災基盤の整備が進んでいる。		215	22.8
誰もが簡単に利用できる情報通信サービスが快適な暮らしを支えている。		205	21.7
住民同士が支え合いながら迅速に避難でき、被災しても早期に立ち直ることができる。		197	20.9
予約制の乗り合いバス・タクシーの運行など地域の状況に応じた移動手段が確保されている。		147	15.6
犯罪の未然防止活動などによって犯罪の起きにくい社会となっている。		90	9.5
特にない。		60	6.4
その他		11	1.2
無回答		19	2.0

「防災・減災基盤」が22.8%と最も高く、次に「誰もが簡単に利用できる情報通信サービスが快適な暮らしを支えている。」(21.7%)、「住民同士が支え合いながら迅速に避難でき、被災しても早期に立ち直ることができる。」(20.9%)が高い割合となっている。



テーマ2 (ゆとりのライフスタイル) 〔自由記載欄〕における主なご意見・ご提言

《自然環境について》

- ・ 長野県の自然を活かした観光による各企業の活性化と、自然エネルギーを活かしその収益を地域に還元しゆとりが生まれるような仕組みができればいい。
- ・ 荒れている森林を整備し、森林資源を日常に取り入れた生活をするのが大切
- ・ 美しい景観は自然にできたものではなく、昔は里山の手入れなど生活の一部として整備していたことが忘れられているのではないか。

《産業、雇用について》

- ・ 地域を支える企業を誘致して、若い人を増やし生活レベルを上げることが重要
- ・ 県内での専門的な知識や技能教育を受けられる学校が少ない。
- ・ 働く気持ちがあっても働く場所がない、給料が低いとゆとりも持てない。
- ・ ノー残業、フレックスタイム、サマータイムなど多様な就業時間の促進
- ・ ワーキングシェアの導入促進と賃金を上げることを同時に進めていくべき。
- ・ 非正規社員から正規社員への登用機会の増が必要
- ・ 週40時間労働を定着させ、父親も子育てに参加できることが必要
- ・ 家族を中心にしたライフスタイルに重点を置くべき。

《移住、観光、地域づくりについて》

- ・ 比較的裕福なリタイア後の世代に自然豊かなライフスタイルを提案してはどうか
- ・ 長野県での生活をイメージできるようにいくつかの生活パターンを提示すると県外の人からは分かりやすいと思う。
- ・ UIターンをはじめ、若者が集まるようになることが重要
- ・ 古民家等への移住者のための環境整備が必要
- ・ 夏休みなどにゆとりを求めて県外から足を運んでもらい、地域の人々と交流する環境整備が必要
- ・ 自然、温泉など多いのに宿泊客が少ないのは街に魅力がないから。街おこしが必要
- ・ 自転車道や歩道を整備し、県民の健康づくりに役立てるほか、観光客もサイクリングやまち歩きを楽しめるとよい。
- ・ 賑わいのある街もあればシャッターの降りた商店街もあり地域格差を感じる。

《社会基盤について》

- ・ ゆとりを生むためには災害時にも不安を感じないハードの整備が必要
- ・ 公共交通機関の整備などにより高齢者や子どもなどの移動手段を確保してほしい。

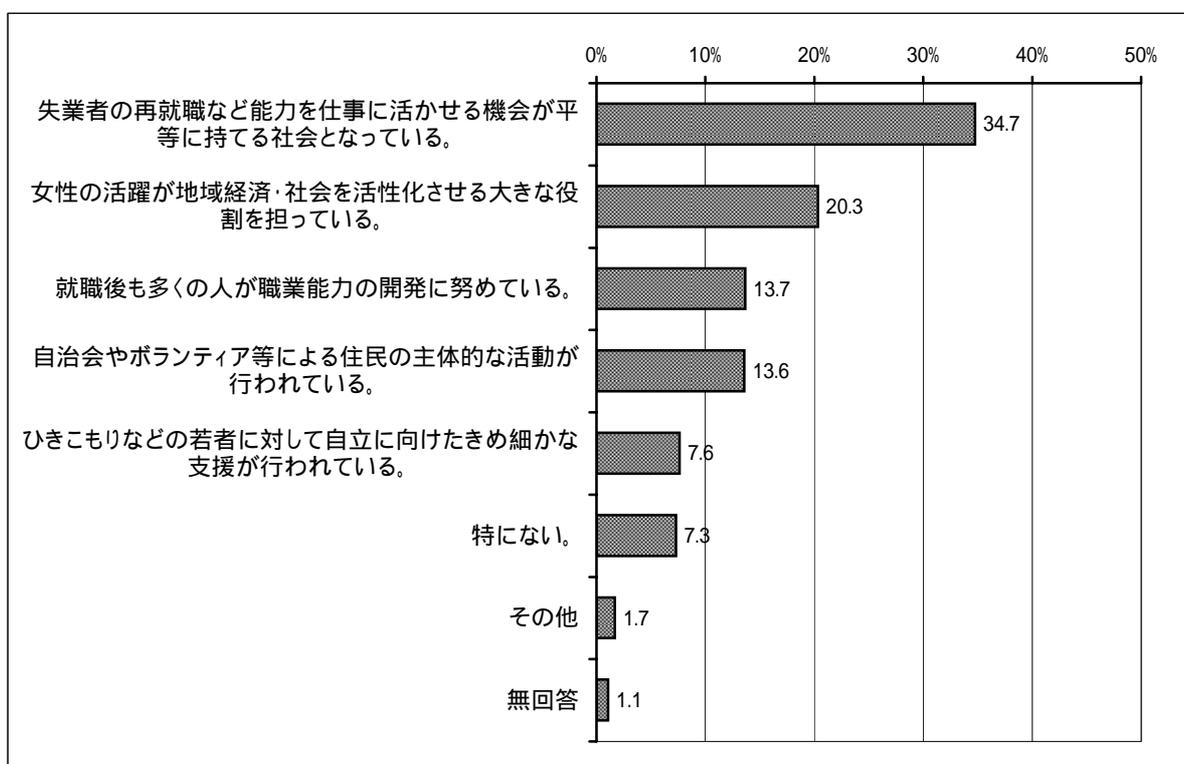
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ3(居場所と出番)

<(100%の自己実現)>
 「失業者の再就職など能力を仕事に活かせる機会」が3割超

問 18-1 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
失業者の再就職など能力を仕事に活かせる機会が平等に持てる社会となっている。		328	34.7
女性の活躍が地域経済・社会を活性化させる大きな役割を担っている。		192	20.3
就職後も多くの人が職業能力の開発に努めている。		129	13.7
自治会やボランティア等による住民の主体的な活動が行われている。		128	13.6
ひきこもりなどの若者に対して自立に向けたきめ細かな支援が行われている。		72	7.6
特にない。		69	7.3
その他		16	1.7
無回答		10	1.1

「失業者の再就職など能力を仕事に活かせる機会」が34.7%と最も高く、次に「女性の活躍が地域経済・社会を活性化させる大きな役割を担っている。」(20.3%)、「就職後も多くの人が職業能力の開発に努めている」(13.7%)が高い割合となっている。



《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ3(居場所と出番)

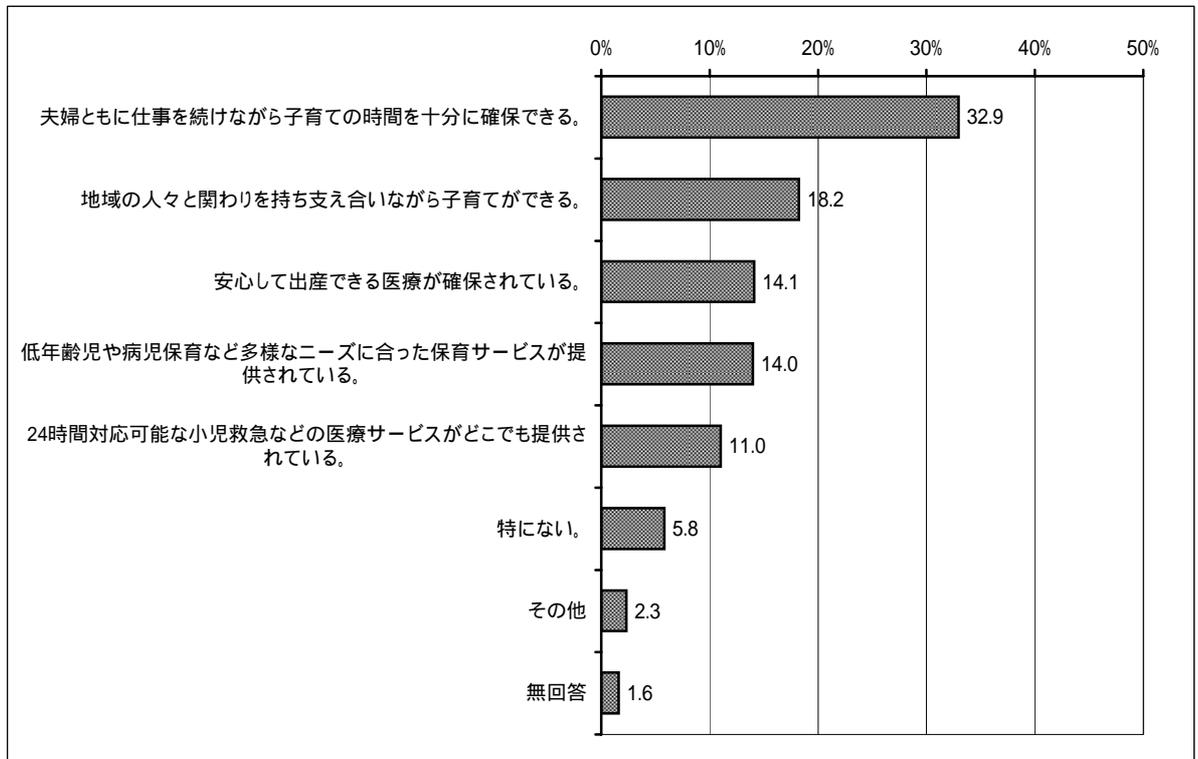
<(子育て先進県)>

「夫婦ともに仕事を続けながら子育ての時間を確保」が3割超

問 18-2 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
夫婦ともに仕事を続けながら子育ての時間を十分に確保できる。		311	32.9
地域の人々と関わりを持ち支え合いながら子育てができる。		172	18.2
安心して出産できる医療が確保されている。		133	14.1
低年齢児や病児保育など多様なニーズに合った保育サービスが提供されている。		132	14.0
24時間対応可能な小児救急などの医療サービスがどこでも提供されている。		104	11.0
特にない。		55	5.8
その他		22	2.3
無回答		15	1.6

「夫婦ともに仕事を続けながら子育ての時間を確保」が32.9%と最も高く、次に「地域の人々と関わりを持ち支え合いながら子育てができる」(18.2%)、「安心して出産できる医療が確保されている」(14.1%)が高い割合となっている。



《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ3(居場所と出番)

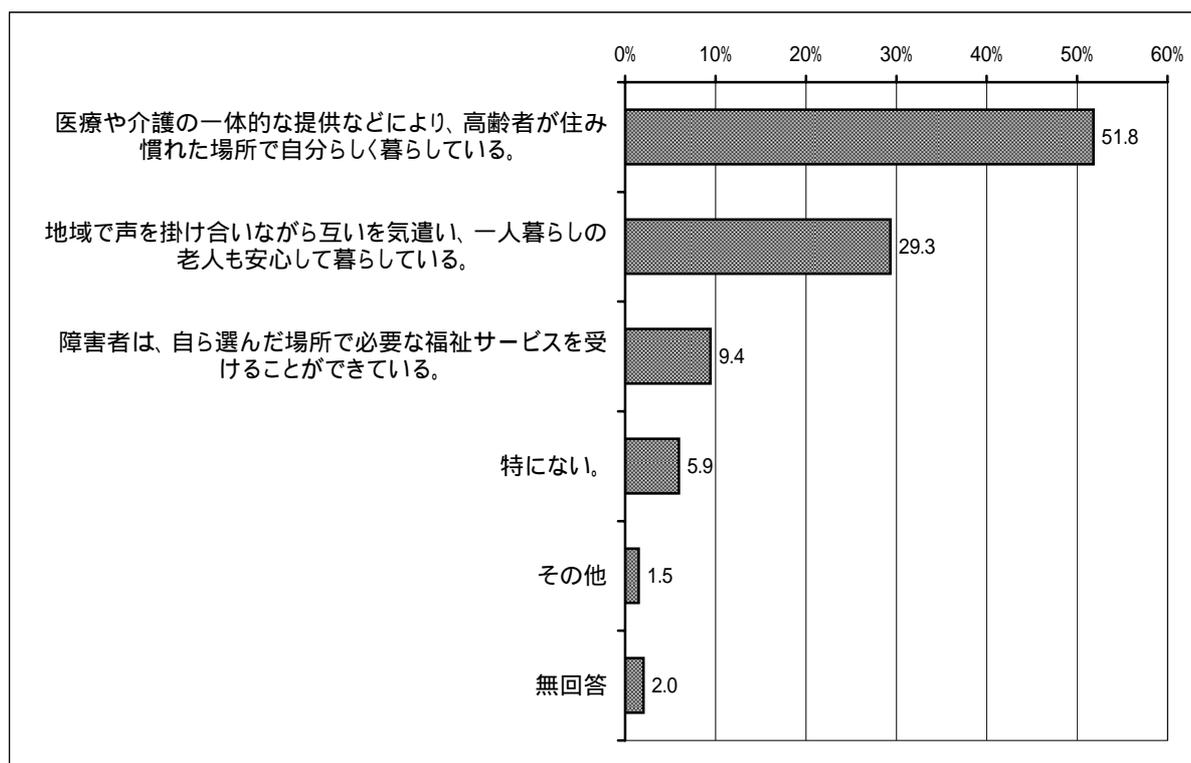
<(あんしん社会)>

「高齢者が住み慣れた場所で自分らしく暮らしている」が約5割

問 18-3 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
医療や介護の一体的な提供などにより、高齢者が住み慣れた場所で自分らしく暮らしている。		489	51.8
地域で声を掛け合いながら互いを気遣い、一人暮らしの老人も安心して暮らしている。		277	29.3
障害者は、自ら選んだ場所で必要な福祉サービスを受けることができる。		89	9.4
特にない。		56	5.9
その他		14	1.5
無回答		19	2.0

「高齢者が住み慣れた場所で自分らしく暮らしている」が51.8%と最も高く、次に「地域で声を掛け合いながら互いを気遣い、一人暮らしの老人も安心して暮らしている」(29.3%)が高い割合となっている。



テーマ3 （居場所と出番） 〔自由記載欄〕における主なご意見・ご提言

《産業・雇用について》

- ・ 若者が県内に残り働きたいと思う産業や企業を増やすことが必要
- ・ ニートやひきこもりへの就職の支援やカウンセリングなど強化していくべき
- ・ 出産後の社会復帰など女性が活躍できる社会にしてほしい。
- ・ 定年退職後も、長年培った知識、技術、職人的な経験を社会に活かせることが重要

《子育てについて》

- ・ 産婦人科の増加、小児救急の充実により安心した子育てができることが重要
- ・ 保育園や幼稚園の充実、放課後における学童の見守り体制の確立、高齢者施設との連携など地域の人たちみんなで子育てに協力していく意識の醸成が必要
- ・ 夫婦で働く場合の子供をあずける環境はまあまあ整備されているが、働きながら子供との時間もしっかりとれることが大切

《高齢者の活躍について》

- ・ 高齢者が家に閉じこもらないように集える居場所があるといい。
- ・ 高齢になってもボランティア活動やパート、アルバイトなど仕事ができる場所をもっとつくって地域社会と関わる必要がある。はりあい健康にもつながる。
- ・ 高齢者の経験や知識を社会に活用すべき。

《地域での自立、支え合いについて》

- ・ 安心して福祉サービスを受けられることが大切だが、福祉の従事者の負担が重くならないような方法を考えていく必要がある。
- ・ 障害者が安心して働くことができる場所づくりが重要
- ・ プライバシーなど難しい面もあるが、地域での支え合いをもっと活発化すべき。

《地域づくり、ボランティア等について》

- ・ 地域の人々がお互いの顔を知ることが大切で、それには、地域の伝統行事などに新住民が気軽に入れる環境作りが必要
- ・ コミュニティは大切であるが、働き盛りには負担が大きい。
- ・ よそ者でも地域で受け入れられる雰囲気づくりが必要
- ・ 年齢に関係なく能力や趣味を生かして社会貢献できる仕組みがあるといい。
- ・ 地域の人材を地域が活用・育成しながら活動の場を広げていくことが必要
- ・ 女性の意見をもっと取り入れ、女性がもっと活躍できることが重要

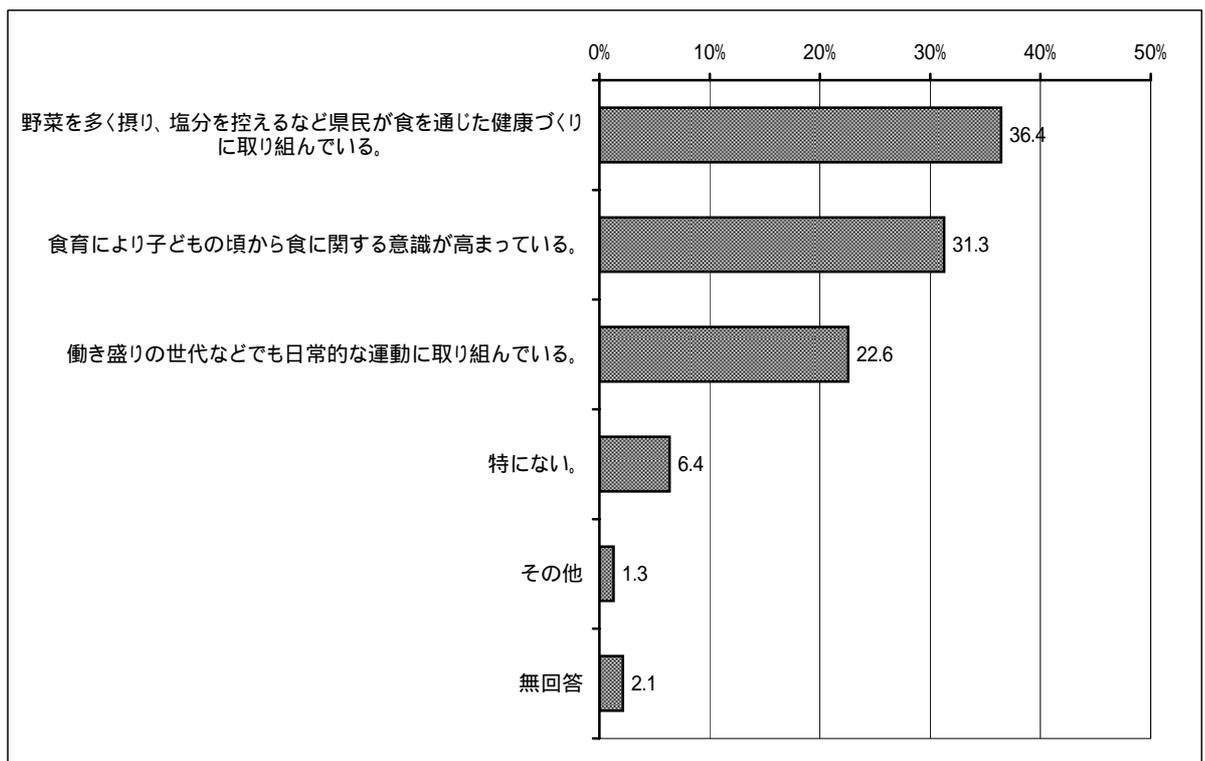
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ4(世界一の健康長寿)

<(世界一の健康づくり)>
 「食を通じた健康づくり」が4割弱

問 19-1 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
野菜を多く摂り、塩分を控えるなど県民が食を通じた健康づくりに取り組んでいる。		344	36.4
食育により子どもの頃から食に関する意識が高まっている。		295	31.3
働き盛りの世代などでも日常的な運動に取り組んでいる。		213	22.6
特にない。		60	6.4
その他		12	1.3
無回答		20	2.1

「食を通じた健康づくり」が36.4%と最も高く、次に「食育により子どもの頃から食に関する意識が高まっている」(31.3%)が高い割合となっている。



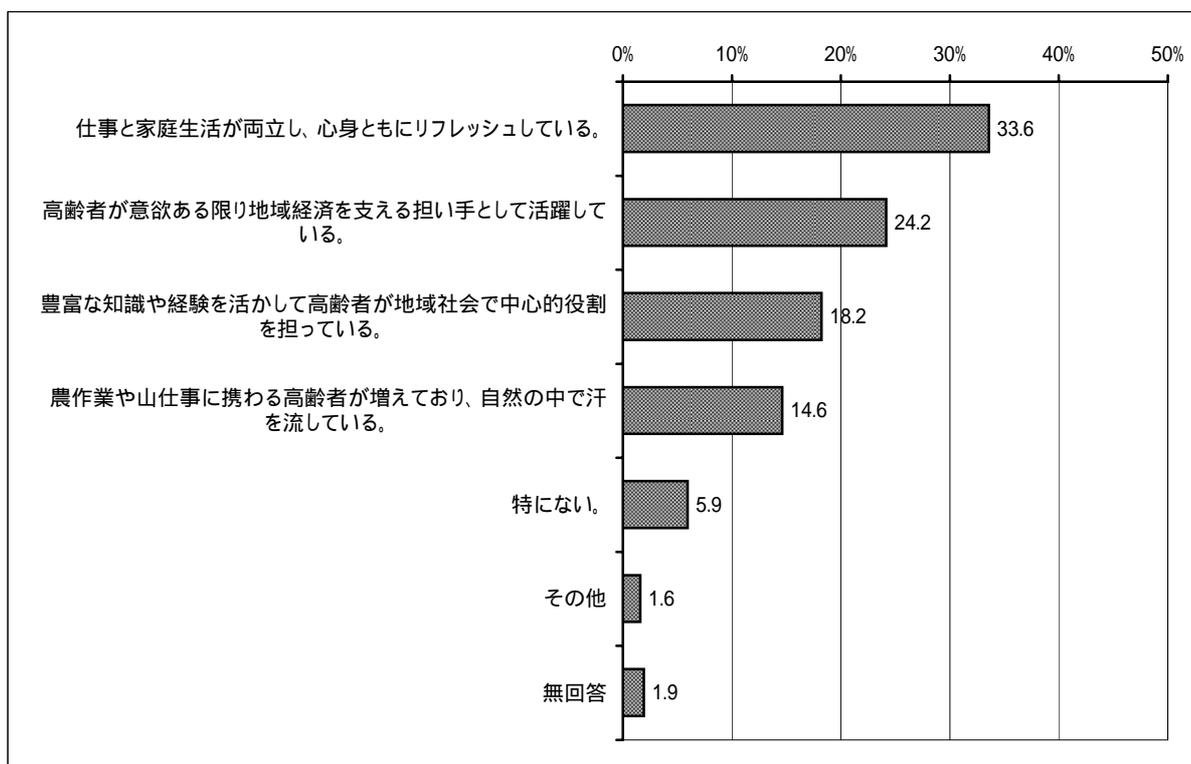
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ4(世界一の健康長寿)

<(生きがいが生み出す元気な暮らし)>
「仕事と家庭生活の両立」が3割超

問 19-2 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
仕事と家庭生活が両立し、心身ともにリフレッシュしている。		317	33.6
高齢者が意欲ある限り地域経済を支える担い手として活躍している。		228	24.2
豊富な知識や経験を活かして高齢者が地域社会で中心的役割を担っている。		172	18.2
農作業や山仕事に携わる高齢者が増えており、自然の中で汗を流している。		138	14.6
特にない。		56	5.9
その他		15	1.6
無回答		18	1.9

「仕事と家庭生活の両立」が33.6%と最も高く、次に「高齢者が意欲ある限り地域経済を支える担い手として活躍している」(24.2%)、「豊富な知識や経験を活かして高齢者が地域社会で中心的役割を担っている」(18.2%)が高い割合となっている。



《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ4(世界一の健康長寿)

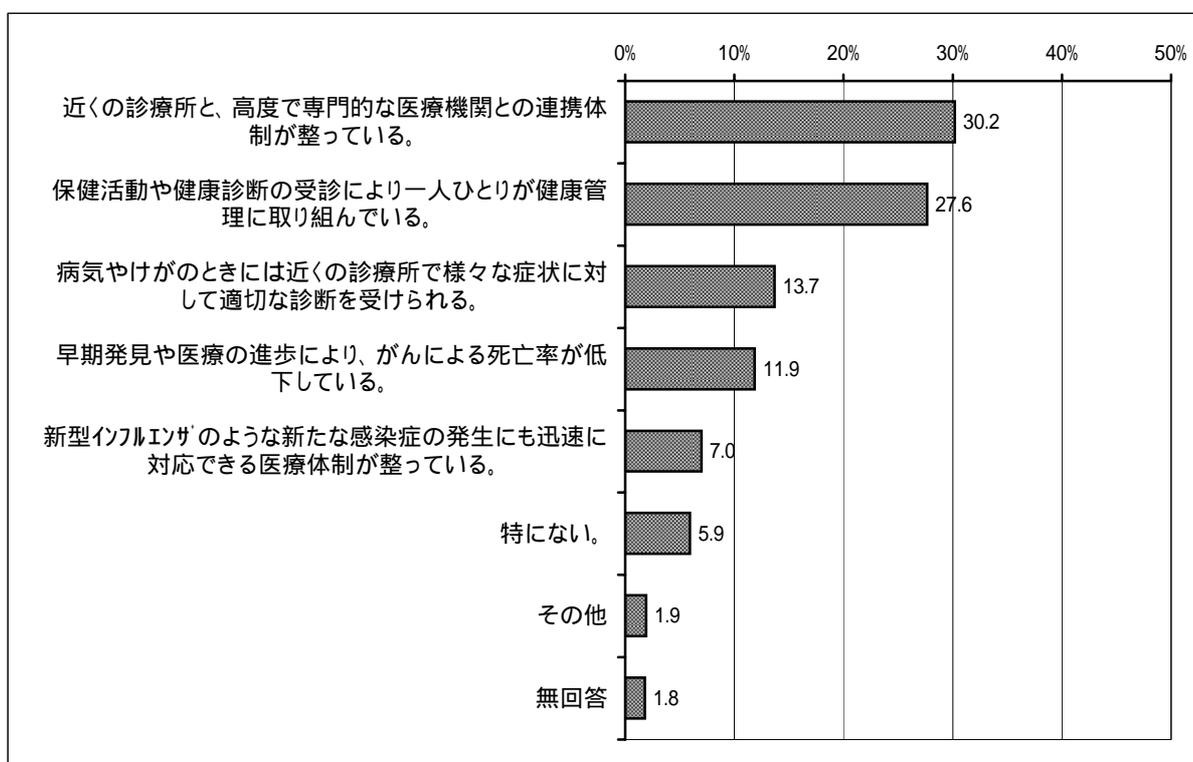
<(世界に誇る保健活動・医療)>

「近くの診療所と、高度で専門的な医療機関との連携体制」が約3割

問 19-3 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
近くの診療所と、高度で専門的な医療機関との連携体制が整っている。		285	30.2
保健活動や健康診断の受診により一人ひとりが健康管理に取り組んでいる。		261	27.6
病気やけがのときには近くの診療所で様々な症状に対して適切な診断を受けられる。		129	13.7
早期発見や医療の進歩により、がんによる死亡率が低下している。		112	11.9
新型インフルエンザのような新たな感染症の発生にも迅速に対応できる医療体制が整っている。		66	7.0
特にない。		56	5.9
その他		18	1.9
無回答		17	1.8

「近くの診療所と、高度で専門的な医療機関との連携体制」が30.2%と最も高く、次に「保健活動や健康診断の受診により一人ひとりが健康管理に取り組んでいる」(27.6%)、「病気やけがのときには近くの診療所で様々な症状に対して適切な診断を受けられる。」(13.7%)が高い割合となっている。



テーマ4 (世界一の健康長寿) 〔自由記載欄〕における主なご意見・ご提言

《自然環境について》

- ・ きれいな空気や水、森林など大自然を守ることが長寿社会の基本

《産業・雇用について》

- ・ 医療・健康産業の積極的な育成や安全な食料の提供が大切
- ・ 働き盛りの世代が健全に働ける社会であってほしい。

《健康づくりについて》

- ・ ストレスのないゆとりのある生活を送ることができる環境づくりが大切
- ・ 長寿であるだけでいいのではなく、県民一人ひとりの健康が維持、改善されることが重要。ピンピンコロリの考え方を広めていくと分かりやすい。
- ・ 健康診断やがん検診などを受けるようにもっと強く働きかけるべき。
- ・ 家庭菜園で野菜作りや花作りをすることにより生きがいや楽しみが持てる。
- ・ なぜ健康長寿県であるのかのデータをしっかり研究してほしい。
- ・ 高齢者の安心な生活と心の豊かさがあることが必要
- ・ 地域ごとに食と運動のデータなどを記録して競うと励みになるのではないか。
- ・ 医者に依存するのではなく、自分で健康づくりをする自覚が大切
- ・ 長野県の保健活動・医療が世界ブランドとなり、移住や来訪の目的になるのが理想
- ・ 健康のための運動の機会を充実させていくことが重要

《保健活動・医療について》

- ・ 自殺者の歯止めをかけることが大切
- ・ 医療体制にもっとゆとりがあり、高度な体制を構築する必要がある。
- ・ 山村にもっと医療機関がほしい。
- ・ 身近な医療機関にカルテを温存して、地域のきめ細かな医療のネットワークの体制を構築することが必要

《高齢者について》

- ・ 適度な仕事や社会参加により生きがいがあることが大切
- ・ 介護予防に力を入れ、いつまでも自立した生活が送れる環境づくりが重要
- ・ 特に一人暮らしの高齢者の安心できる生活、施設等の確保が必要
- ・ 病院の送迎などの車を多くしてほしい。
- ・ 高齢社会を支える財源の確保策が必要

《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ5(教育立県)

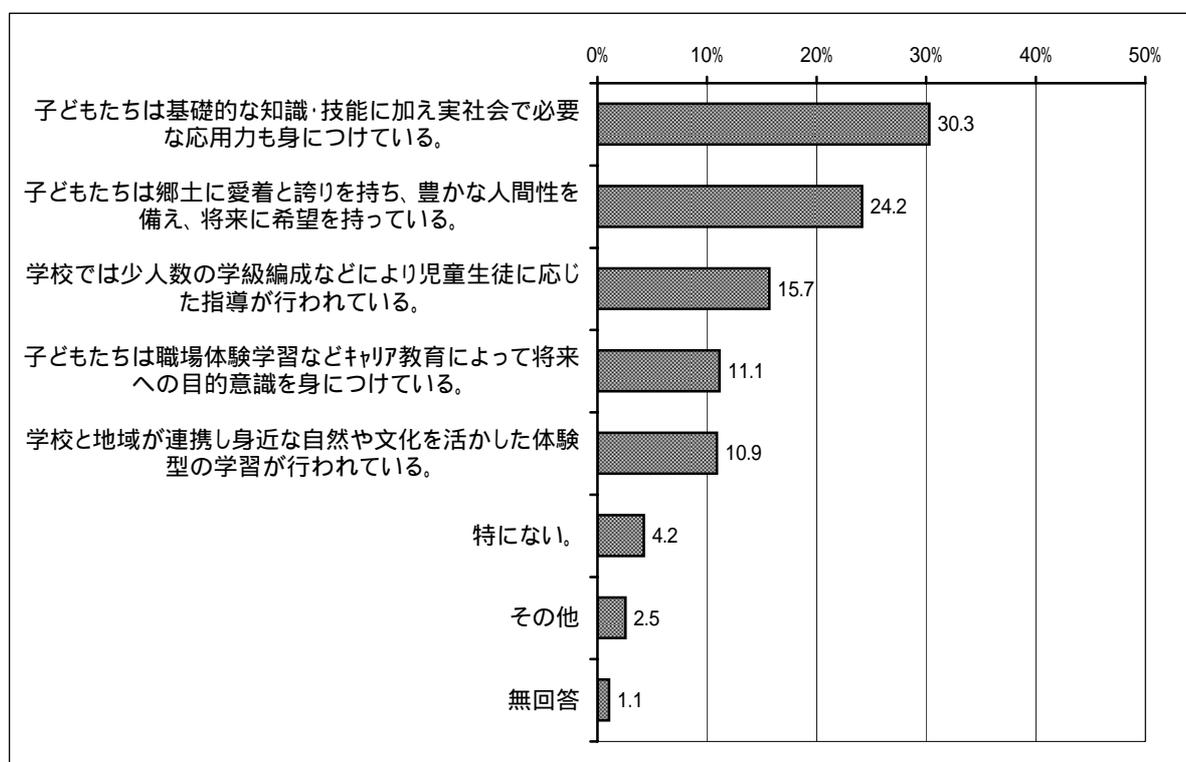
<(人間力を養う)>

「基礎的な知識・技能に加え実社会に必要な応用力」が約3割

問 20-1 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
子どもたちは基礎的な知識・技能に加え実社会に必要な応用力も身につけている。		286	30.3
子どもたちは郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな人間性を備え、将来に希望を持っている。		228	24.2
学校では少人数の学級編成などにより児童生徒に応じた指導が行われている。		148	15.7
子どもたちは職場体験学習などキャリア教育によって将来への目的意識を身につけている。		105	11.1
学校と地域が連携し身近な自然や文化を活かした体験型の学習が行われている。		103	10.9
特にない。		40	4.2
その他		24	2.5
無回答		10	1.1

「基礎的な知識・技能に加え実社会に必要な応用力」が30.3%と最も高く、次に「郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな人間性を備え、将来に希望を持っている」(24.2%)、「学校では少人数の学級編成などにより児童生徒に応じた指導が行われている」(15.7%)が高い割合となっている。



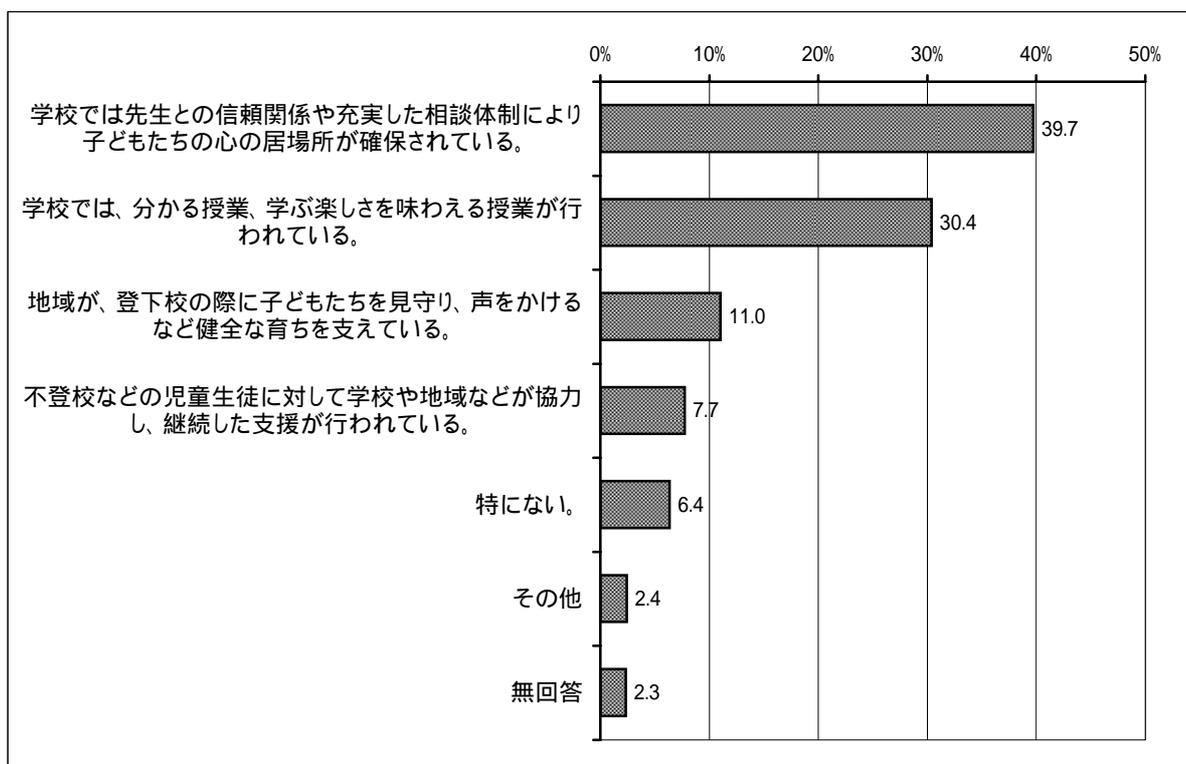
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ5(教育立県)

<(行きたくなる学校)>
 「先生との信頼関係や相談体制による心の居場所」が約4割

問 20-2 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
学校では先生との信頼関係や充実した相談体制により子どもたちの心の居場所が確保されている。		375	39.7
学校では、分かる授業、学ぶ楽しさを味わえる授業が行われている。		287	30.4
地域が、登下校の際に子どもたちを見守り、声をかけるなど健全な育ちを支えている。		104	11.0
不登校などの児童生徒に対して学校や地域などが協力し、継続した支援が行われている。		73	7.7
特にない。		60	6.4
その他		23	2.4
無回答		22	2.3

「先生との信頼関係や相談体制による心の居場所」が39.7%と最も高く、次に「学校では、分かる授業、学ぶ楽しさを味わえる授業が行われている」(30.4%)、「地域が、登下校の際に子どもたちを見守り、声をかけるなど健全な育ちを支えている」(11.0%)が高い割合となっている。



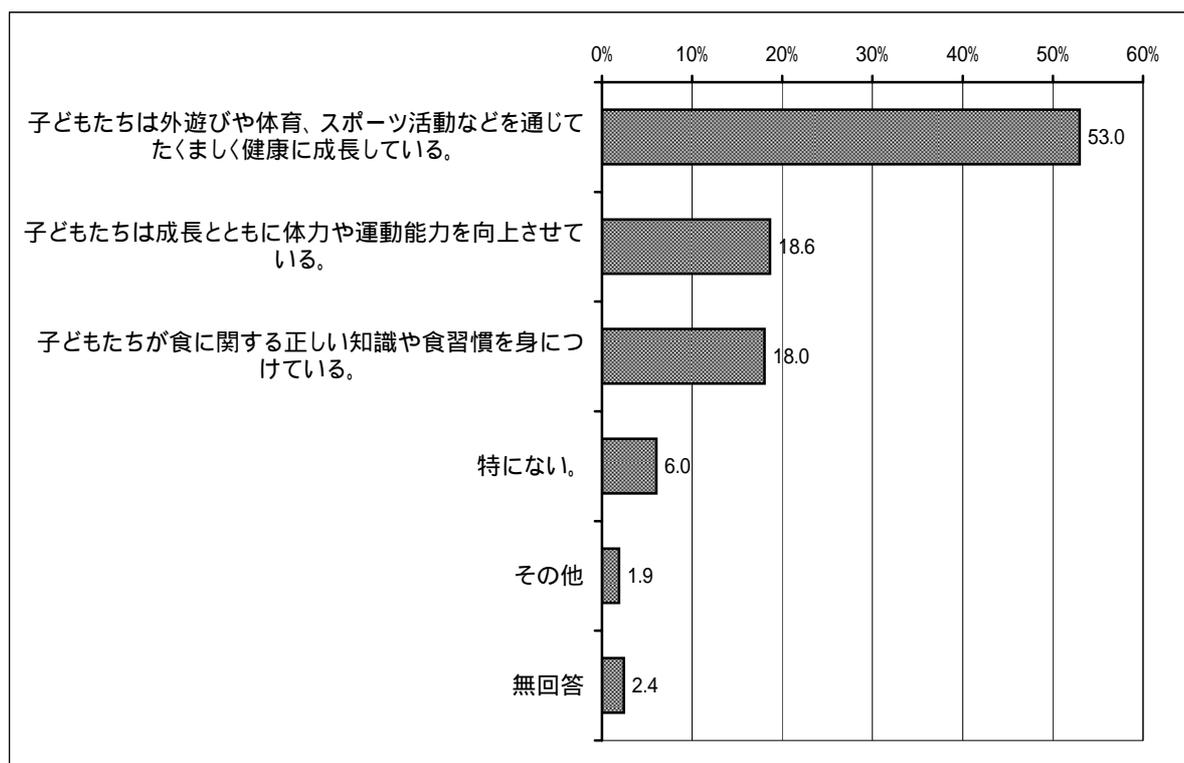
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ5(教育立県)

<(自然の中でたくましく)>
 「外遊びや体育などを通じてたくましく健康」が5割超

問 20-3 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
子どもたちは外遊びや体育、スポーツ活動などを通じてたくましく健康に成長している。		500	53.0
子どもたちは成長とともに体力や運動能力を向上させている。		176	18.6
子どもたちが食に関する正しい知識や食習慣を身につけている。		170	18.0
特にない。		57	6.0
その他		18	1.9
無回答		23	2.4

「外遊びや体育などを通じてたくましく健康」が53.0%と最も高く、次に「子どもたちは成長とともに体力や運動能力を向上させている。」(18.6%)が高い割合となっている。



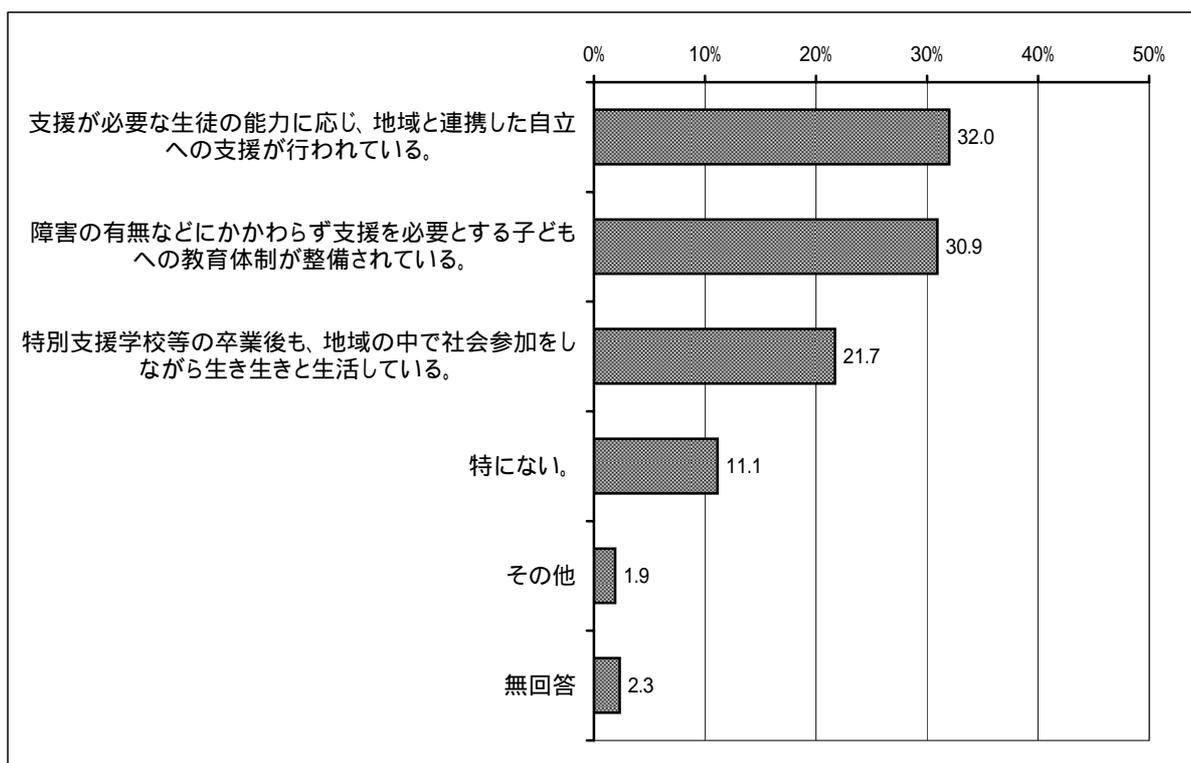
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ5(教育立県)

<(個性輝く)>
「地域と連携した自立への支援」が約3割

問 20-4 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
支援が必要な生徒の能力に応じ、地域と連携した自立への支援が行われている。		302	32.0
障害の有無などにかかわらず支援を必要とする子どもへの教育体制が整備されている。		292	30.9
特別支援学校等の卒業後も、地域の中で社会参加をしながら生き生きと生活している。		205	21.7
特にない。		105	11.1
その他		18	1.9
無回答		22	2.3

「地域と連携した自立への支援」が32.0%と最も高く、次に「障害の有無などにかかわらず支援を必要とする子どもへの教育体制が整備されている。」(30.9%)が高い割合となっている。



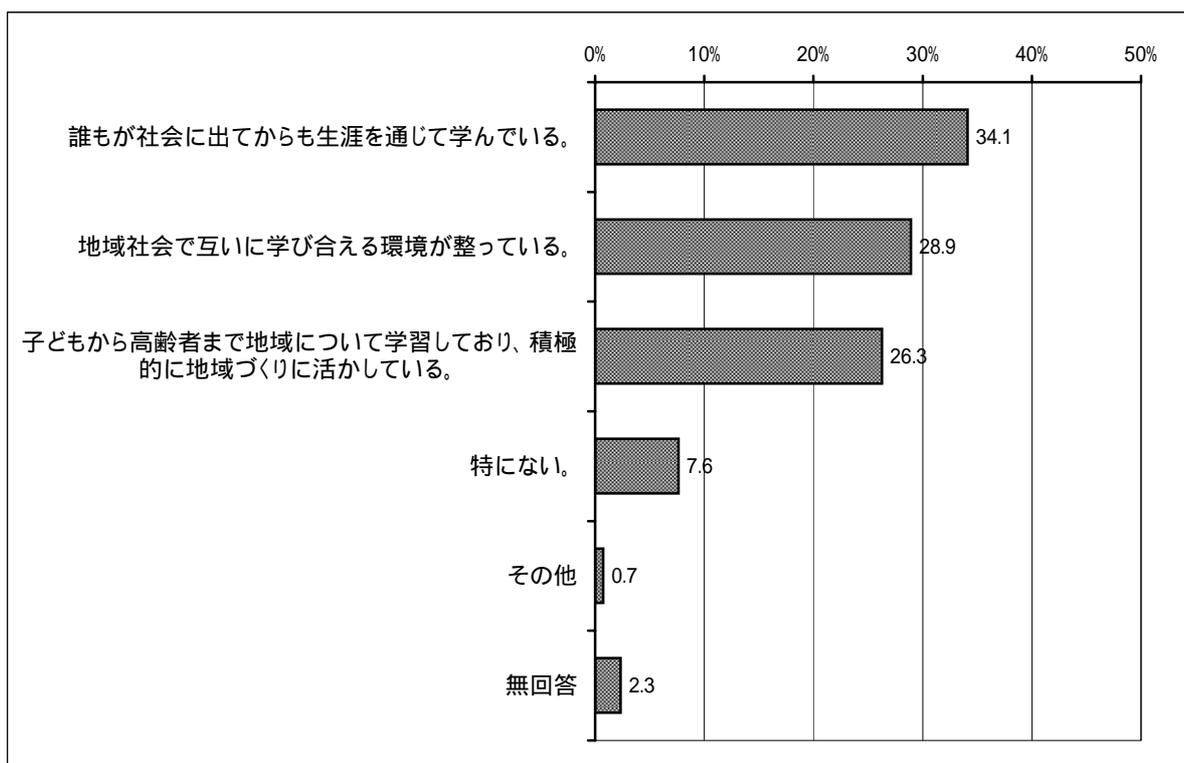
《新たな総合5か年計画～未来のめざす姿～》 テーマ5(教育立県)

<(常に学び続ける)>
 「誰もが生涯を通じて学んでいる」が3割超

問 20-5 以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

	n= 944	回答数 (人)	割合 (%)
誰もが社会に出てからも生涯を通じて学んでいる。		322	34.1
地域社会で互いに学び合える環境が整っている。		273	28.9
子どもから高齢者まで地域について学習しており、積極的に地域づくりに活かしている。		248	26.3
特にない。		72	7.6
その他		7	0.7
無回答		22	2.3

「誰もが生涯を通じて学んでいる」が34.1%と最も高く、次に「地域社会で互いに学び合える環境が整っている」(28.9%)が高い割合となっている。



テーマ5 (教育立県) 〔自由記載欄〕における主なご意見・ご提言

《学校教育について》

- ・ エリートを育てるのではなく、落ちこぼれを出さない教育を目指してほしい。
- ・ 画一的な管理教育でなく、子どもの個性や関心を伸ばす教育をしてほしい。
- ・ これからは特に英語力を身につけ、会話ができる人材が必要。海外留学生の受入や英語教育の早期導入をすべき。
- ・ 何をもって教育県と呼ばれていたのか、現状を認識することが重要
- ・ 郷土史の学習を充実させて先人達の学んできた信州教育を再度見つめてほしい。
- ・ なぜ勉強するのか、勉強することでどのような利益があるのかも先生が子どもに教えてほしい。
- ・ 長野県がこれから育成していく産業に関わる優秀な人材の育成が重要
- ・ 頭の中の知識だけでなく、農作業や自然の中での体験など身体を使った学習が大切
- ・ 議論を重んじ、考え方の多様性を育てる教育をすべき。自己主張をしっかりと出来る、論じ合える教育が必要。
- ・ 学力の前に、社会のルールや人とのつながりなど、人間としてちゃんとした生き方ができるように必要なことを教えることが大事
- ・ 道徳教育を重視し、人格や精神面を成長させる教育が必要
- ・ いじめが起きにくい環境、起きても迅速に解決できる環境を作ることが必要
- ・ 学校、先生と親・子どもの信頼関係が大事
- ・ 子ども達をとことん指導してくれる熱意があり、知識も高い先生を採用してほしい。企業を経験した先生を採用することもよいと思う。
- ・ 教員は経験豊富で豊かな人間性を持ち「育てる能力」を持った人材が必要
- ・ 教員の育成に力を入れ、質を向上させることが重要
- ・ 四年制大学や大学院など専門的に学べる学校が少ない。県立短期大学の4年生はぜひ実力と魅力あるものにしてほしい。
- ・ 中高一貫教育の推進
- ・ 風通しのよい教育現場、教育委員会の透明性と働きが県民の目に見えるようになってほしい。

《生涯学習、家庭・地域での教育について》

- ・ 大学、公民館などで学ぶ場が提供されているが、だいたいが高中年向けの講座となっている。情報通信や金融、経済、消費者教育など多様な学習の機会を求めたい。
- ・ 教育はまず家庭から。親の教育も必要。

《県職員の姿勢・行動について》

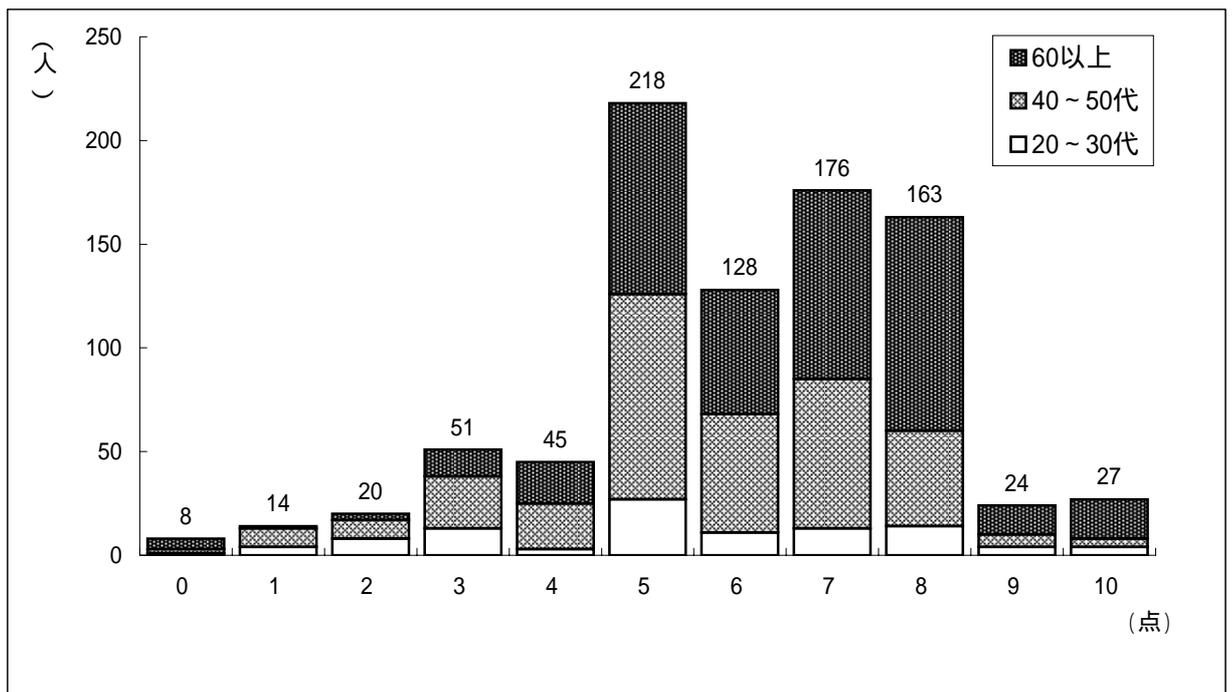
<県職員の県民の期待への対応度>

県職員がどの程度県民の期待に応えられているかについて県民の評価は6.0点

問21 県の職員は、県民の皆様の期待にどの程度応えられていると思いますか。(10点満点)

年代	n=944	回答数 (人)	平均 (点)
20～30歳代		102	5.4
40～50歳代		351	5.7
60歳以上		421	6.5
全体		874	6.0
無回答		70	-

最も多い評価は「5点」。平均点は、60代以上が最も高く(6.5点)、年代が下がるにつれて低くなっている。



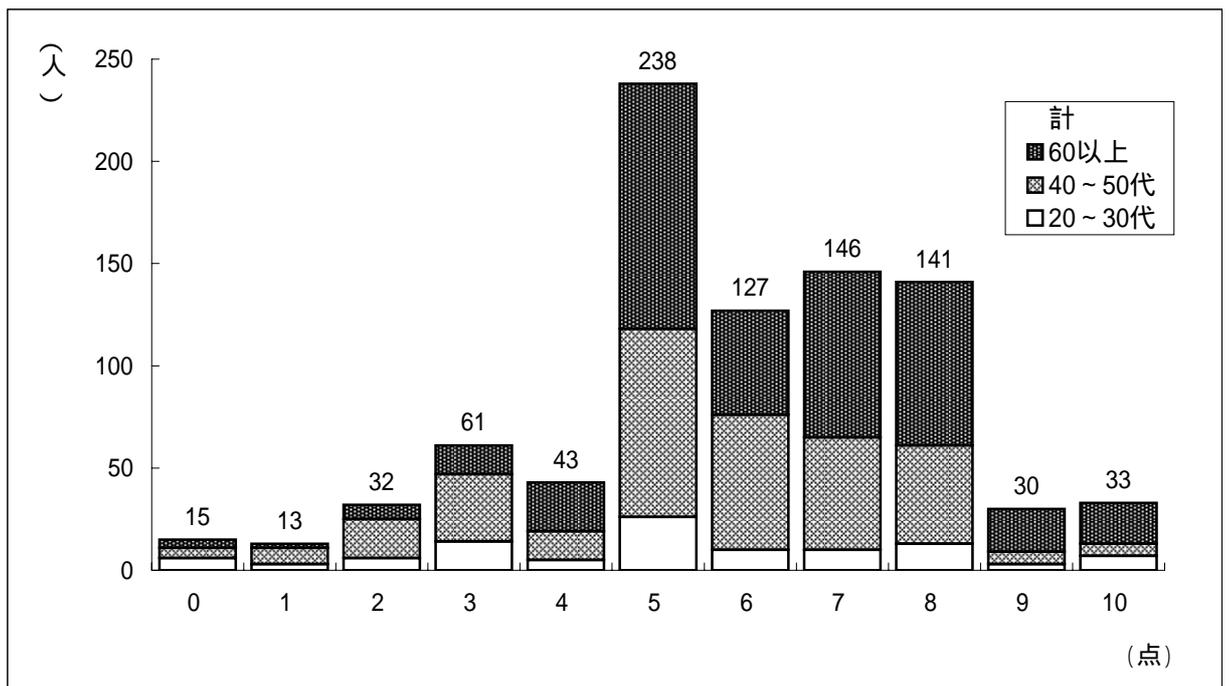
《県職員の姿勢・行動について》

＜県職員の仕事への取組姿勢＞
 県職員の仕事に対する姿勢について県民の評価は5.8点

問22 県の職員は、「高い志と仕事への情熱を持って職務に取り組んでいる」と思いますか。(10点満点)

年代	n=944	回答数 (人)	平均 (点)
20～30歳代		103	5.2
40～50歳代		352	5.5
60歳以上		424	6.3
全体		879	5.8
無回答		65	-

最も多い評価は「5点」。平均点は、60代以上が最も高く(6.3点)、年代が下がるにつれて低くなっている。



調 査 票

--	--	--	--	--	--	--	--

【お願い】
アンケート回答の前に県政モニターID
番号を左の枠内に記入してください。

県政の課題について下記のとおりお伺いします。

【長野県の呼称について】

現在、長野県では県内外へ「信州らしさ」や「信州の魅力」を効果的に発信するとともに、他方面と連携して「選ばれ続ける長野県」を目指しています。

問1～問11までの設問はこの戦略作り等の参考とするためにお伺いします。

問1 あなたは、長野県のイメージ・呼称として適しているのはどれだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

信州	信濃
長野	その他(具体的に)

「信州」とお答えいただいた方は、その理由をお答えください。(は1つ)

直感的なイメージがあるから	「さわやか信州」のキャッチフレーズの印象があるから
「長野」や「信濃」よりもわかりやすいから	その他(具体的に)
親しみやすいから	

「長野」とお答えいただいた方は、その理由をお答えください。(は1つ)

直感的なイメージがあるから	長野冬季オリンピックを開催したから
「信州」や「信濃」よりもわかりやすいから	その他(具体的に)
親しみやすいから	

「信濃」とお答えいただいた方は、その理由をお答えください。(は1つ)

直感的なイメージがあるから	県歌は「信濃の国」だから
「信州」や「長野」よりもわかりやすいから	その他(具体的に)
親しみやすいから	

【長野県の強みとイメージ】

問2 あなたは、長野県の「強み」、「魅力」は何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(はいくつでも)

雄大な自然環境	商業施設(ショッピングモールなど)
健康・長寿	スキー
ものづくりの技術	美しい風景
数多くある温泉	おいしい野菜・果物
住民の人情や人柄	お寺やお城などの文化遺産
安心・安全な食材	その他(具体的に)
街並み・景観	

問3 あなたは、信州を象徴する色は何色だと思いますか。何色が記入してください。

【長野県民の想い】

問4 あなたは、普段、何に関心をお持ちですか、又は生きがいとしてありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(はいいくつでも)

- | | |
|---------------|------------|
| 家族・家庭 | 仕事、社会的地位 |
| 地域活動・地域とのかかわり | 財産 |
| 健康・長寿 | 政治・経済 |
| 趣味・スポーツ | ボランティア活動 |
| 愛情・友情 | 特になし |
| 旅行・レジャー | その他(具体的に) |

問5 あなたは、長野県に住みつづけたいと思いますか。「はい」の場合はその理由も選んでください。

- | | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

<理由> (はいいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 自然が美しい(水・空気等) | 安心・安全なおいしいものがあるから |
| 土に親しみ農業等がしたい | 子供(孫)の将来のため |
| 就職し働きたいから | 家族の介護や療養のため |
| 健康・長寿県だから | その他(具体的に) |

問6 あなたの感性にマッチする(合う)「価値感」は何ですか。あてはまるものを選んでください。(は3つまで)

- | | |
|----------------------------|---|
| 健康・長寿 | 学び・知恵 |
| エコロジー・省エネ 1 | ゆとり・豊かさ・美しさ |
| 1 エコロジー:自然環境を保護し、共存を目指す考え方 | おいしさ・おしゃれ |
| 安全・安心 | オーガニック・自然とのふれあい 2 |
| 交流・絆・助け合い | 2 オーガニック:農薬や化学肥料に頼らず土壌の持つ力を活かして栽培する農法やその収穫物 |
| | その他(具体的に) |

【長野県の物産】

問7 あなたが、長野県の物産で県内外の方に薦めたいものは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(はいいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 伝統工芸品(木曾漆器・水引など) | 水 |
| ワイン | 信州牛や信州ポーク |
| 日本酒 | 川魚・ジビエ |
| 乳製品 | ジビエ:鹿を始めとする野生鳥獣の肉 |
| きのこ | 花 |
| 漬物 | おやき |
| 野菜・果物(りんご・ブドウ・レタス等) | 信州味噌 |
| 農産物の加工品(ジュース・ジャム等) | 信州そば |
| スイーツ・菓子 | 五平もち |
| 米 | その他(具体的に) |

【県産農産物の認知度・購入意識・食生活について】

問8 長野県では県産農産物の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取組や制度、オリジナル食材をご存じですか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（ はそれぞれ1つずつ）

品目等		知っていますか	
		知っている	知らない
	おいしい信州ふーど(風土)宣言(1)	1	2
	長野県原産地呼称管理制度(2)	1	2
	「信州の伝統野菜」制度(3)	1	2
原産地呼称	認定ワイン	1	2
	認定日本酒	1	2
	認定焼酎	1	2
	認定シードル	1	2
	認定米	1	2
	信州サーモン	1	2
	信州黄金シャモ	1	2
	信州プレミアム牛肉	1	2
	シナノスイート(りんご)	1	2
	シナノゴールド(りんご)	1	2
	秋映(りんご)	1	2
	ナガノパープル(ぶどう)	1	2
	南水(なし)	1	2

1 おいしい信州ふーど(風土)宣言

信州が育む多様な風土の中から生まれた食べ物全ての中から、3つの基準(「プレミアム(厳選素材・厳選基準)」、「オリジナル(独自ブランド・全国上位)」、「ヘリテイジ(伝統野菜・郷土食)」)で厳選した食べ物を、「おいしい信州ふーど(風土)」と称し、長野県の統一ブランドとして発信・定着する取組を行っています。

2 原産地呼称管理制度

長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度。

認定基準 長野県産の原料を使い県内で生産され、一定の品質基準を満たし、官能審査に合格したもの。

現在の対象は、ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米(上記表の5品目)。

3 信州の伝統野菜制度

長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度。

選定基準：長野県内で栽培されている野菜のうち、「来歴」、「食文化」、「品種特性」の3項目について一定の基準を満たしたもの。



問9 あなたが長野県産の食材・メニューで食べてみたいもの・飲んでみたいものは何ですか。あてはまるものを選んでください。(は食べたいもの3つ、飲みたいもの2つまで)

<食べたいもの(は3つまで)>

- | | |
|------------------|--------------------|
| 黄金シャモを使用した料理 | 乳製品 |
| 信州サーモンを使用した料理 | ジビエ |
| 信州プレミアム牛肉を使用した料理 | ジビエ・・・鹿をはじめとする野生鳥獣 |
| 手打ちそば | 果物盛り合わせやデザート |
| 信州産の野菜を使ったサラダや煮物 | 漬物 |
| 信州産の食材を使用したスイーツ | おしぼりうどんなどの麺類(そば以外) |
| 信州のその他の郷土食 | 信州産米のおにぎり・ご飯 |
| 季節限定のきのこや山菜 | その他(具体的に) |

<信州産の飲みたいもの(は2つまで)>

- | | |
|---------|------------|
| 野菜のジュース | 焼酎 |
| 果物のジュース | 天然水 |
| 日本酒 | お茶 |
| ワイン | その他(具体的に) |

問10 あなたは、日頃、農産物を購入する際に「長野県産又は地場産」を意識していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

品目	常に意識して購入している	時々意識して購入している	意識していない	わからない
米	1	2	3	4
野菜	1	2	3	4
果物	1	2	3	4
食肉	1	2	3	4
きのこ	1	2	3	4

問11 あなたは、日常の食生活において、次の項目をどの程度実践していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

	ほとんどできていない	おおよそできていない	あまりできていない	まできている
食事を楽しむ	1	2	3	4
主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	1	2	3	4
ごはんなどの穀類をしっかりとする	1	2	3	4
家庭で料理をつくる際に、時々地元農産物を利用する	1	2	3	4
調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なくする	1	2	3	4

【新たな総合5か年計画～長野県の現状と課題～】

現在、県では長野県がめざす将来像を県民の皆様と共有し、一緒になって創り上げていくための方向性や方策を明らかにするため「新たな総合5か年計画」の策定を進めています。問12～問20までの設問はこの計画策定の参考とするためにお伺いします。

「新たな総合5か年計画」の骨格にあたる「大綱」（別添参考資料）を同封させていただきましたので、必要に応じてご参照ください。

問12 長野県では、これからの20年の間に人口が約30万人減少すると見込まれています。このような人口減少社会において、今後特に重要と感じることは何だと思えますか。あてはまるものを選んでください。（ は2つまで）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 少子化に歯止めをかける対策 | NPO、ボランティアなどと行政との連携、協働 |
| 若者の定住促進 | 地域を支える産業の振興 |
| 移住者の受入 | 地域を支える人づくり |
| 社会や地域での女性や高齢者などの活躍 | 高齢者を支える仕組み |
| 集落や地域共同組織の維持 | その他(具体的に) |

（参考）～新たな総合5か年計画大綱から～

長野県の人口は、平成13年の222万人をピークに全国に先んじて減少に転じ、平成22年の215万2千人が平成42年には184万8千人に減少すると見込まれています。また、人口に占める老年人口の割合が26.5%から35.9%まで上昇すると見込まれています。

問13 「信州らしいライフスタイル（暮らし方）」としてあなたがイメージするのはどのような暮らしですか。あてはまるものを選んでください。（ は2つまで）

- | | |
|----------------|------------------------|
| 豊かな自然と触れあう暮らし | 地元の新鮮な農産物を味わえる暮らし |
| 美しい景観に囲まれた暮らし | 太陽光や薪などを利用した自然にやさしい暮らし |
| 伝統文化を受け継ぐ暮らし | 芸術文化やスポーツを満喫できる暮らし |
| 地域の絆により支え合う暮らし | 時間的なゆとりのある暮らし |
| 他地域との交流が活発な暮らし | その他(具体的に) |

（参考）～新たな総合5か年計画大綱から～

現在はモノの豊かさに加え、精神的な満足感や暮らしのゆとりも重視される時代と言われています。また、東日本大震災の発生は私たちの生き方の底流にある価値観に大きな影響を与えました。

このような時代には、長野県の都会にはない数多くの優れた特徴がさらに輝きを放つ可能性が増しています。

問14 長野県経済の活力を維持するために、今後特に重要と感ずることは何だと思ひますか。あてはまるものを選んでください。(は2つまで)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 健康や環境など新たに成長が見込まれる分野の開拓 | 国内外の観光客などの受入れ |
| 県外からの企業誘致 | 産業を担う人材の育成、確保 |
| 開発力・技術力の向上 | 創業、新規就農などの拡大 |
| 海外への販路拡大 | 農・商・工連携など異業種間の連携、交流 |
| 地域資源を活用した地場産業の育成 | その他(具体的に) |

(参考)～新たな総合5か年計画大綱から～
日本経済は旺盛な内需の拡大により成長してきましたが、今後人口が減少していくことなどから、かつてのような国内需要の大幅な伸びは期待できません。
長野県経済は、円高の進行やアジア諸国の工業力の台頭に伴い、主力となる製造業が生産拠点の海外移転をせまられるなど厳しい状況が続いています。

問15 社会を支える仕組みについて、今後特に必要と感ずるものは何だと思ひますか。あてはまるものを選んでください。(は2つまで)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 年金、医療などの持続可能な社会保障制度 | 大規模災害への備え |
| 国や地方の安定した財政構造 | NPO、ボランティアなどが行政と連携、協働する仕組み |
| エネルギーの安定確保 | その他(具体的に) |
| 水の安定確保 | |
| 食料の安定確保 | |

(参考)～新たな総合5か年計画大綱から～
少子高齢化社会の到来により社会保障制度や国や地方の財政基盤の持続可能性が危ぶまれています。また、東日本大震災により、都市基盤など現代社会の脆弱性が明らかになりました。

【新たな総合5か年計画～20年後のめざす姿～】

策定中の「新たな総合5か年計画」の大綱では、「長野県の20年後のめざす姿」を5つのテーマで表しています。

問16～問20はこの5つのテーマに関連した設問です。

「20年後のめざす姿」は、今生まれた子ども達が成人になったときに、私たちがどんな長野県を引き継ぎたいかを示すものです。

以下、各問のタイトル名は大綱における現在の案を()書きで表示しています。

テーマ 1 (世界への貢献)

[自由記載欄] このテーマ(世界への貢献)を推進していくために必要と思うことについて、ご意見・ご提言がありましたら記入願ひます。(関連:問16-1～16-4)

以下は、20年後にこうなっていてほしいという未来の長野県の姿を表したものです。
このような社会を創るためには、現状との隔たり(ギャップ)を無くす努力が必要となりますが、あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

問16-1 (世界をリードする最先端産業)について

アジア新興国など、世界中を相手にした活力ある経済活動を行っている。
健康、環境など新たな成長分野が次々と育っている。
個々の企業が技術や研究開発力、提案力を高めている。
新たな創業が活発化している。
商業・サービス業や建設業といった地域に根ざした産業が活性化している。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(世界をリードする最先端産業) 大綱16ページ

問16-2 (世界品質の農産物)について

農地の集約化や技術開発により農業の低コスト化が進んでいる。
本県オリジナルの品種・品目の開発・普及が進んでいる。
品質の高い農畜産物のブランドイメージが国内外で認知されている。
収益性の高い農業が展開されることにより若者の就農も増えている。
海外へも農産物の販路を拡大している。
林業が地域を支える産業として発展している。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(世界品質の農産物) 大綱17ページ

問16-3 (世界に選ばれる信州の魅力)について

信州のすばらしさが知れわたり、国内外から多くの人々が訪れている。
信州の魅力がブランドイメージとして国内外に広く知られている。
海外からの教育旅行が活発になっている。
リニア中央新幹線や高速道路網など高速交通網が充実し多くの人々が訪れている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(世界に選ばれる信州の魅力) 大綱18ページ

問16-4 (知の拠点)について

国内外の研究開発型企業が進出してきている。
高度な専門的知識や技術を持った人材が集積している。
県外からの若者の就職が活発になっている。
大学などの高等教育機関が充実している。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(知の拠点) 大綱18ページ

テーマ 2 (ゆとりのライフスタイル)

[自由記載欄] このテーマ(ゆとりのライフスタイル)を推進していくために必要と思うことについて、ご意見・ご提言がありましたら記入願います。(関連:問17-1~17-4)

(前テーマと同様に)あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

問17-1 (楽園信州)について

美しい景観が県民の高い意識と参加により形成されている。
地域の祭りなどの伝統文化が脈々と受け継がれている。
地域資源を活かした魅力的な地域と大都市圏の人々との交流が活発化している。
ゆとりを求めて長野県へ移り住む人や二地域居住する人が増えている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(楽園信州) 大綱19ページ

問17-2 (感動との出会い)について

多くの人々が文化や芸術に親しんでいる。
多くの人々が個々の関心や適性に応じてスポーツを楽しんでいる。
快適で賑わいのある街を多くの人々が楽しんでいる。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(感動との出会い) 大綱20ページ

問17-3 (自然のお裾分け) について

省エネなどの取組みにより温室効果ガスの排出量が大きく減少している。
自然エネルギーの地域での生産・消費が進み、国内外のモデルとなっている。
多くの人が環境への負荷の少ない生活を送っている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(自然のお裾分け) 大綱20ページ

問17-4 (どこでもドアの信州) について

誰もが簡単に利用できる情報通信サービスが快適な暮らしを支えている。
地震や土砂災害などに対する防災・減災基盤の整備が進んでいる。
住民同士が支え合いながら迅速に避難でき、被災しても早期に立ち直ることができる。
犯罪の未然防止活動などによって犯罪の起きにくい社会となっている。
予約制の乗り合いバス・タクシーの運行など地域の状況に応じた移動手段が確保されている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(どこでもドアの信州) 大綱21ページ

テーマ 3 (居場所と出番)

[自由記載欄] このテーマ(居場所と出番)を推進していくために必要と思うことについて、ご意見・ご提言がありましたら記入願います。(関連:問18-1~18-3)

(前テーマと同様に)あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

問18-1 (100%の自己実現) について

女性の活躍が地域経済・社会を活性化させる大きな役割を担っている。
就職後も多くの人が職業能力の開発に努めている。
失業者の再就職など能力を仕事に活かせる機会が平等に持てる社会となっている。
ひきこもりなどの若者に対して自立に向けたきめ細かな支援が行われている。
自治会やボランティア等による住民の主体的な活動が行われている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(100%の自己実現) 大綱22ページ

問18-2 (子育て先進県)について

夫婦ともに仕事を続けながら子育ての時間を十分に確保できる。
安心して出産できる医療が確保されている。
低年齢児や病児保育など多様なニーズに合った保育サービスが提供されている。
24時間対応可能な小児救急などの医療サービスがどこでも提供されている。
地域の人々と関わりを持ち支え合いながら子育てができる。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(子育て先進県) 大綱22ページ

問18-3 (あんしん社会)について

地域で声を掛け合いながら互いを気遣い、一人暮らしの老人も安心して暮らしている。
医療や介護の一体的な提供などにより、高齢者が住み慣れた場所で自分らしく暮らしている。
障害者は、自ら選んだ場所で必要な福祉サービスを受けることができている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(あんしん社会) 大綱23ページ

テーマ 4 (世界一の健康長寿)

[自由記載欄] このテーマ(世界一の健康長寿)を推進していくために必要と思うことについて、ご意見・ご提言がありましたら記入願います。(関連:問19-1~19-3)

(前テーマと同様に)あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

問19-1 (世界一の健康づくり)について

食育により子どもの頃から食に関する意識が高まっている。
野菜を多く摂り、塩分を控えるなど県民が食を通じた健康づくりに取り組んでいる。
働き盛りの世代などでも日常的な運動に取り組んでいる。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(世界一の健康づくり) 大綱23ページ

問19-2 (生きがいが生み出す元気な暮らし) について

仕事と家庭生活が両立し、心身ともにリフレッシュしている。
高齢者が意欲ある限り地域経済を支える担い手として活躍している。
農作業や山仕事に携わる高齢者が増えており、自然の中で汗を流している。
豊富な知識や経験を活かして高齢者が地域社会で中心的役割を担っている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(生きがいが生み出す元気な暮らし) 大綱24ページ

問19-3 (世界に誇る保健活動・医療) について

保健活動や健康診断の受診により一人ひとりが健康管理に取り組んでいる。
病気やけがのときには近くの診療所で様々な症状に対して適切な診断を受けられる。
近くの診療所と、高度で専門的な医療機関との連携体制が整っている。
早期発見や医療の進歩により、がんによる死亡率が低下している。
新型インフルエンザのような新たな感染症の発生にも迅速に対応できる医療体制が整っている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(世界に誇る保健活動・医療) 大綱24ページ

テーマ 5 (教育立県)

[自由記載欄] このテーマ(教育立県)を推進していくために必要と思うことについて、ご意見・ご提言がありましたら記入願います。(関連:問20-1~20-5)

(前テーマと同様に)あなたが現状との隔たりを感じ、最優先で取り組むべきと思うものはどれですか。最も当てはまると感じるものをそれぞれ1つ選んでください。

問20-1 (人間力を養う) について

学校では少人数の学級編成などにより児童生徒に応じた指導が行われている。
子どもたちは基礎的な知識・技能に加え実社会に必要な応用力も身につけている。
子どもたちは職場体験学習などキャリア教育によって将来への目的意識を身につけている。
学校と地域が連携し身近な自然や文化を活かした体験型の学習が行われている。
子どもたちは郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな人間性を備え、将来に希望を持っている。
特にない。
その他(具体的に)

参考：(人間力を養う) 大綱25ページ

問20-2 (行きたくなる学校)について

学校では、分かる授業、学ぶ楽しさを味わえる授業が行われている。

学校では先生との信頼関係や充実した相談体制により子どもたちの心の居場所が確保されている。

不登校などの児童生徒に対して学校や地域などが協力し、継続した支援が行われている。

地域が、登下校の際に子どもたちを見守り、声をかけるなど健全な育ちを支えている。

特にない。

その他(具体的に)

参考：(行きたくなる学校) 大綱26ページ

問20-3 (自然の中でたくましく)について

子どもたちは外遊びや体育、スポーツ活動などを通じてたくましく健康に成長している。

子どもたちは成長とともに体力や運動能力を向上させている。

子どもたちが食に関する正しい知識や食習慣を身につけている。

特にない。

その他(具体的に)

参考：(自然の中でたくましく) 大綱26ページ

問20-4 (個性輝く)について

障害の有無などにかかわらず支援を必要とする子どもへの教育体制が整備されている。

支援が必要な生徒の能力に応じ、地域と連携した自立への支援が行われている。

特別支援学校等の卒業後も、地域の中で社会参加をしながら生き生きと生活している。

特にない。

その他(具体的に)

参考：(個性輝く) 大綱26ページ

問20-5 (常に学び続ける)について

誰もが社会に出てからも生涯を通じて学んでいる。

地域社会で互いに学び合える環境が整っている。

子どもから高齢者まで地域について学習しており、積極的に地域づくりに活かしている。

特にない。

その他(具体的に)

参考：(常に学び続ける) 大綱27ページ

【県職員の姿勢・行動について】

長野県では、行政運営に当たり、これまで当たり前のこととして明確に意識してこなかった私たちの組織の「使命・目的（ミッション）、目指す姿（ビジョン）、価値観・行動の指針（バリュー）」について、本年3月に「行政経営理念」として決めました。

この理念のもと、職員一丸となって、行政・財政改革に取り組んでいくこととしていますが、改革の進捗状況を把握するため、職員の改革に対する姿勢や行動の変化について、今後継続してお聞きしていきたいと考えています。

そこで、次の2点についてお尋ねします。

問21 県の職員（ ）は、県民の皆様の期待にどの程度応えられていると思いますか。
（10点満点で点数を右の 内に記入してください。）

県庁や合同庁舎等に勤務する職員全体に対するイメージでお答えください。（問22も同じ）

摘要 10：完全に期待に応えられている ～ 0：全く期待に応えられていない

問22 県の職員は、「高い志と仕事への情熱を持って職務に取り組んでいる」と思いますか。
（10点満点で点数を右の 内に記入してください。）

摘要 10：非常に高い志や情熱が感じられる ～ 0：志や情熱が全く感じられない

【参考】

長野県行政経営理念

【使命・目的（ミッション）】

最高品質の行政サービスを提供し、
ふるさと長野県の発展と県民の幸福の実現に貢献します。

【目指す姿（ビジョン）】

県民に信頼され、期待に応えられる県行政を目指します。
職員が高い志と仕事への情熱を持って活躍する県組織を目指します。

← 今回この部分についてお尋ねします。

【価値観・行動の指針（バリュー）】

私たちは、
県民起点で真摯に行動します。
様々な組織と協働します。
成果をあげることにこだわりを持ちます。
平均ではなく最高を目指します。
変化を恐れず挑戦します。
責任感を持って主体的に行動します。
チームとして協力し合います。